

第5回阿武隈川河川整備委員会

阿武隈川水系河川整備計画[大臣管理区間]
素案(公表版)に係る意見について

平成19年1月31日

国土交通省 東北地方整備局

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		意見要旨	意見内容	意見提出方法
① 河川整備計画全般				
共通- 1	河川整備の対象期間について	安全と安心のできる阿武隈川を早く実現してほしい	素晴らしい策定なので、20年くらいで実行してほしい。	会場での発言 (伊達市)
			水防防災事業も30年と言わず早く完成させてほしい。	会場での発言 (伊達市)
			平成の大改修以来、度々洪水があった。その都度川の流れが変わってきた。8.5の水害は、住宅の2階の畳まできた。国交省の人に100年に1回の水害と言われた。30年ではなくもっと早くやった方がいいのではないか。	会場での発言 (伊達)
			平成10年、14年と年々水高が増している。地図どおり水位があがっている。30年という区切りはわかるし、予算もあるだろうが、住居を構える者としては10年5年とスピード感をもってやってほしい。	会場での発言 (二本松市)
			水防防災事業を進めてもらっているが、雨や台風のために、ずっと農家をやっているが、収穫の頃になって水でやられる。生命の危険も出てきたので、ここまでやってこられて感謝している。危険な無堤地区は早めにやってほしい。	会場での発言 (伊達市)
			自分の家は20~30cmで浸水する。家のすぐ下には県道が通っており、その下に田や林がある。現在安達ヶ原が整備されている。次はたぶん自分たちの方だと思うが、スピード感をもって早くやってほしい。	会場での発言 (二本松市)
			今回の30年間の計画に、雲水峰地区として整備の箇所付けはされているが、できれば30年間の中でも早い時期に、平成の大改修の中で買収された箇所でもあるので、できるだけ早く整備してほしい。	会場での発言 (須賀川市)
			安全と安心の持続できる阿武隈川を早く実現してほしいと思う。	会場での発言 (伊達市)
			毎日テレビの天気予報を見てから仕事を進めている状況であります。お客様の預かり製品が何百万分の製品がございます。一刻も早く河川の事業を進めて欲しいです。会社の裏がすぐ川になっております。安達ヶ原7丁目です生活するのは、雨が降るたびに精神的に苦痛になる次第です。	インターネット
			阿武隈川の整備は場所によっては急を要するヶ所が多々ありますので最短の日時を(年次)適正な予算による整備を行われることを望みます。	会場での投書 (二本松市)
			会場での意見発表にもあったように、30年の計画を少しでも早目に達成できたら素晴らしいと思う。(少しでも早く)そのためには官側だけでなく地域住民の協力が大切と思う。	会場での投書 (伊達市)
			必要な堤防整備を早急に行ない、その後は維持管理のみを残し、地方の中小河川に予算を多く使えるようにすべき。	会場での投書 (郡山市)
30年は長すぎる。すぐにやってほしい。	会場での発言 (伊達市)			
計画どおりに事業が早い時期に完成することを希望する	会場での投書 (岩沼市)			
予算を集中して早期の実現を望む。	会場での投書 (伊達市)			
共通- 4	河川整備計画全般について	河川の自然を守りつつ安心して住めるよう願う	ハード事業からソフト面の事業も多く組み入れられる様ですが、災害対策を重点にバランスの良い事業の計画を望みます。	はがき
			安全な川づくりを希望する。	会場での投書 (郡山市)
			河川整備事業は本流、支流、源流、側溝と考えると国土交通省だけの事業として行う場合は流れ三作用に対する治水が主になると思います。	はがき
			絵に描いた餅にならないように計画を作成して欲しい	はがき
			安全で安心して生活のできる様、当局の更なるご尽力賜りますようお願い申し上げます。	会場での投書 (伊達市)
			護岸工事などをしたので、これで安全ですではなく、河川の自然の姿を守りつつ安心して住んでいけるよう宜しくお願い致します。	はがき
			災害対策を重点にバランスの良い事業計画をたててほしい	はがき

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		意見要旨	意見内容	意見提出方法
共通- 5	市民や他機関との連携・協力について	国(国交省、農水省)、県、市町村及び住民が一体となった整備・改修を望む	我が国の治水対策は国土保全からしても、国土交通省のみならず、環境省、農水省との連携も必要不可欠と思われます。縦割りとされている行政を是非その領域を超えた施策展開をお願い致します。	FAX
			築堤等のハード的な整備だけでなく、前述の総合的な対策を望むものであり、国(国交省、農水省)、県、市町村及び住民が一体となった整備・改修を望むものであります。	会場での投書 (二本松市)
共通- 6	河川整備に関する情報の提供について	地域住民との節目節目での情報の交換をお願いしたい	道路管理者と河川管理者、利用者が協力し合うことによってもっといろんな面でプラスになるのだと思う。	会場での発言 (角田市)
			地域住民との意見交換、大切な事と思います。公務御多用とは存じますが、節目節目での情報の交換を頂ければと思います。	会場での投書 (二本松市)
			堤防工事をする時は地域住民への情報提供をお願いしたい	会場での投書 (郡山市)
② 洪水、高潮等による災害の発生防止または軽減				
治水- 1	河川整備の目標について	100年に1回の(規模といわれるような)洪水が実際に数回となっている。計画の見直しが必要では	100年に1回の洪水が数回となっている。計画の見直しが必要となる。	会場での投書 (伊達市)
			家の近くで浸水があった場合、水路の樋門が閉められるので、なぜか聞いたら河川の水位が上昇して逆流するからとの話でした。逆流しなくても良い(自然流下)ように阿武隈川を計画断面(150年か300年確率がわかりませんが)に改修してください。	はがき
治水- 2	整備箇所の優先度と上下流のバランスについて	上流部の整備が進めば下流部の流量が増えるのは当然であり、流量の増加等治水面の悪影響が心配 河川整備は下流より力を入れて整備すべき 町中を流れる地域は最重点地域として施行を急ぐべきである	上流部河川整備が進めば下流の水量が増水するのが当然であると思います。地域自然にマッチした改修よりそこに住んで居る人達の安全を守ることが最も大切であると思います。	会場での投書 (伊達市)
			現在整備が実施されている私が住んでいる川下地域の整備等が二の次になっていることに不満を感じる。	会場での投書 (二本松市)
			上流側福島県で実施された「平成の大改修」による堤防整備や排水施設により、流量の増加など治水面の悪影響があるのか心配である。	会場での発言 (角田市)
			伊達市梁川町は昭和61年8月洪水の経験から考えると整備は上流からでなく下流から行うべきではないかと考えるが、その点が理解できないところである。	会場での投書 (伊達市)
			整備は川下から進めてほしい。	会場での投書 (伊達市)
			河川整備は下流より力を入れて整備すべきだと思います。	会場での投書 (伊達市)
			61年8月の水害後国土交通省のご配慮により整備されましたが下流の方は未だ危険度が高く大雨の都度地域の方々には心配されておるので今後共よろしくお願い致します。	会場での投書 (伊達市)
町中を流れる地域については最重点地域として施行を急ぐべきである。私の地域はいつも洪水に見舞われる地域であり、それは強く望むところです。	会場での投書 (二本松市)			
全国の河川の整備にあたっては、地元の陳情合戦による予算の分取りを良しとすることなく、真に危険な河川からの整備を行って行くような行政システムを構築することを望む。	会場での投書 (二本松市)			
治水- 3	堤防の量的整備について	住民の生命と財産を守るためにも無堤、未計画高の堤防の早急な解消を望む	住民の生命と財産を守るためにも無堤、未計画高の堤防の早急な解消を望むものであります。	会場での投書 (二本松市)
			市内無堤地区の解消に努力をしてほしい。	会場での投書 (郡山市)
			治水対策を十分をお願いします。そのためには、堤防の嵩上げが必要です。堤防の強度、嵩上げの高さについては、シミュレーションをして、安全と考えられるまでに設備をして欲しい。	はがき
			国県あるいは市町村の縄張りにはばられて梁川町舟生大越地区の様に、一部手を付けることが出来ない所があります。これではその他の部分がいくら出来ても、仏つくてたましいいれずでとになってしまいます。	会場での投書 (伊達市)
			阿武隈川の小倉寺側蓬菜橋から弁天山下までの築堤、管理用道路の設置。	インターネット
			堤防を補強する。高さ、幅共に！！	会場での投書 (伊達市)

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		意見要旨	意見内容	意見提出方法
治水-4	本宮地区の堤防整備について	右岸左岸一体となった計画堤防高での築堤事業を早期に実施することを願う	昭和61年の8.5洪水以来今年で20年が過ぎた。其の間には平成10年には2回そして14年には1回と、16年間の間には3回もの洪水を見舞われたことに成る事を思うとき、そろそろ来年の台風シーズンには洪水の年に当たるのではないかと毎日が不安でならない。一日も早く枕を高くして寝られるよう本宮町から洪水の被害を未然に防止し安全で安心な国民生活を守るため左岸右岸一体となった計画堤防高での阿武隈川本築堤事業を早期に実施することを願います。 本宮町の河道掘削実施箇所の上の計画が不十分で本宮町の市街地側を今後改修する立案がされている様だが、最近改修した高木地域の再検討の改修の費用は無駄と思うが如何でしょうか。高木地区の意見に負けないようお願いいたします。	F A X はがき
治水-5	堤防の質的整備について	阿武隈川の堤防の質的整備は、30年で調査してから実施するとの話があったが、これは急務ではないかと思う	阿武隈川の最悪のシュミレーションでは、角田市は中心街を含めて80%は水没している。 素案の80ページのところに角田市の21キロから37.2キロまでの堤防に質的整備箇所があり、30年で調査を実施してから実施するとの話があったが、これは急務ではないかと思う。 計画対象30年間(P79)堤防の質的整備でなく強化!を要望します。	会場での発言(角田市) はがき
治水-6	河道掘削について	河道掘削により河床面を低くすることで堤防を高くすることを抑えつつ、川より低い箇所の住民の不安を無くするのがよいと思う	河床面を低くすることで堤防を高くすることを抑えつつ、川より低い所で生活をよぎなくされている住民の不安を無くするのが良いと思われまが・・・ 地下の化石燃料が底を突く今世紀、輸送体系再構築を進める上で河川での舟運も一考し、北上川の石巻・最上川の酒田・阿武隈川の岩沼の河口や河川と鉄道との結節点での拠点整備と併せて、治水での河川幅拡張やバイパス川、油類の川への流失削減による清流化に伴い、川魚の多様化で釣り客増、川での水泳客増等近くで遠い川、阿武隈川に人々が集まる水が人を呼び人が水を呼ぶ生活、動脈阿武隈川の意義深さを新たに考えなければならぬ清流阿武隈川温故知新として地域人と共に成長して頂きますよう宜しくお願い致します。 県境部の狭く部分の流量を確保してほしい。 「サルバネ岩」の景観保全との調和を大切にするあまり、梁川町八幡地区五十沢地区の洪水発生を生んでしまう。 河道掘削を! 小セ川の防除堤の所が一番の岩盤で、小セ川が氾濫すると阿武隈川の水はそこでせきとめられる。あの辺の岩盤を砕けば流れがよくなるのではないかと。山の高さは1500mだから、あの石を掘れば落差が出る。30年かけて堤防をつくるより、それをやった方が早い。そうでなければトンネルを掘るのもいい。	はがき インターネット 会場での投書(伊達市) 会場での発言(二本松市)
治水-7	地域特性に応じた治水対策について	危険な無堤地区は早く整備してほしい 戸数の少ない地域は高地へ移転することが、経費の面でも少なく済むと考えられる	水防事業を進めてもらっているが、雨や台風のたびに、ずっと農家をやっているが、収穫の頃になって水でやられる。生命の危険も出てきたので、ここまでやってこられて感謝している。危険な無堤地区は早急にやしてほしい。 戸数の少ない地域は高地へ移転することが、経費の面でも少なく済むと考えられる。	会場での発言(伊達市) 会場での投書(二本松市)
治水-8	内水対策について	築堤を進めれば進めるほど内水の処理量が多くなるので、内水対策をしっかりと行ってほしい 築堤地区における内水対策にも積極的に取組んでほしい 内水被害をなくすため、大型ポンプをつけていただきたい	築堤を進めれば進めるほど内水の処理量が多くなるので、内水対策をしっかりと行ってほしい。 築堤地区における内水対策にも積極的に取組んでほしい。 家の近くで浸水があった場合、水路の樋門が閉められるので、なぜか聞いたら河川の水位が上昇して逆流するからとの話でした。逆流しなくても良い(自然流下)ようにしてください。 内水の排除施設の充実を望む 伝樋川水門ヶ所のポンプでは不十分 内水被害をなくすため、大型ポンプをつけていただきたい。 内水対策としての排水ポンプの常備をお願いしたい(梁川町、町裏地内) 水門を閉じると流れがストップし、支流の方にどんどん流れてくるので、その被害を心配している。 資料の22ページに、平成の大改修などにより、堤防の整備率が向上した反面、内水被害が顕在化しつつあると出ている。二本松杉田地区は堤防そのものが改修され、下流の高田から安達地区は堤防建設中だが、外水により住宅地の被害は抑えられるが、河川の水位が上がったときに堤内側の住宅地の内水が止まってしまう。降った雨で河川の水位が上がったときに、水の流れが心配である。	会場での投書(伊達市) 会場での投書(郡山市) はがき 会場での投書(伊達市) 会場での投書(伊達市) 会場での発言(二本松市) 会場での発言(二本松市)

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		意見要旨	意見内容	意見提出方法
治水-9	流域内での流出抑制対策について	内水は、それまで田畑だった所が宅地になり、急激に河川に雨水が流入するために起きているのではないかと。人口の多い郡山等で各家庭に貯水タンクを設置するなどし、各家庭に小さなダムを作って、地域に流さないような方法にしたり、その水を利用して中水に利用するなど考えてみてはどうか 森林開発を止め、雨水保水森林の拡大、地中自然浸水の方策も考えることも必要	内水について、それまで田畑だった所が宅地にならなかったので、急激に河川に雨水が流入するために起きているのではないかと思う。 その場合、全て阿武隈川で勝負しようとするのではなく、人口の多い郡山等で各家庭に貯水タンクを設置するなどし、各家庭に小さなダムを作って、地域に流さないような方法にしたり、その水を利用して中水に利用するなど考えてみてはどうか。 河川の堤防整備も大変大事な事で一番に行って頂きたい事ですが、地球の温暖化での異常気象、さらに各地域での開発等による一時的な集中豪雨による被害等にはやはりその河川地域に住む住民が一体となり協力が必要だと思います。 一時的な集中豪雨には農地の保水に目を向けて頂き、田に一時的に水を溜めてもらう協力を農家に願います、これを行うことにより大きな遊水地効果が得られると思いますがいかがですか。一番安価で最大の効果だと思います。 雨が降れば鉄砲水として河川に溢れる水はだいぶ遊水地や放水路の整備も見られるようになってきましたが、森林開発を止め、雨水保水森林の拡大、地中自然浸水の方策も考えることも必要だと思います。 減反政策と都市化に伴う水田等の減少も著しいことから、一時に水が流出しない対策も国レベルで今後必要となるのではないのでしょうか。 洪水から国民生活を守るには、築堤事業は第一条件であるが、長期に渡り洪水を無くしながら、命に大切な水を守るため、山に広葉樹を植林すると共に、現在山にまで設置してあるU字溝を撤去し、山に貯水し、洪水を無くすと共に其の貯水による環境にやさしい、伏流水を孫子のために残しておくのが現在の我々に残された任務ではないでしょうか。 ここ数年の土地利用の動きを見ますと、郊外のミニ遊水地ともいえる川岸の湿地が造成され、宅地となったところが数多くあります。その後、川の氾濫を度々目にする事があります。市街地に於いても、何か考慮すべきところがあります。 河川整備は一般的には築堤や河道掘削、遊水地などがあげられるかと思いますが、それらの対策と共に流出抑制策も重要な施策と考えられます。私は対策の一つとして、広葉樹林による保水効果を(スポンジ効果)を拡大する。第2にダム効果のある水田や、農業用水池の保水力を有効活用するため水田耕作者等の協力態勢を整備し流出抑制策を計ってはいかがでしょうか。猪苗代湖の水位1cmは水量にして100万トンと言われているのであります。これらを考えますと阿武隈川流域に広がる水田は非常に大きなダム効果があると考えられます。 地方自治体と是非この様なことについても研究されてはいかがでしょう。	F A X はがき はがき F A X はがき F A X
治水-10	遊水地の整備について	市街地への洪水対策として遊水地は有効であると思うので、さらに整備が必要	洪水(市街地への)対策として遊水地は有効であると思うので、さらに整備が必要だと思います。 上流部により多くの遊水地が必要だと思います。 沿川に計画的な遊水地を設けるべきではないか。	はがき 会場での投書(伊達市) 会場での投書(伊達市)
治水-11	適正な土地利用への誘導について	本来、洪水による川の氾濫は、良好な自然環境を維持するうえで必要 近年は危険地帯にどんどん住居や施設が建設され、川の堤防が強化され、川本来の姿が失われている ハザードマップを生かし、危険地帯には極力住居等をつくらせないようにし、既存の施設は移動を促すべき 川の氾濫がなくなった時は、本当の川が失われてしまうと感じている	本来、洪水による川の氾濫は、良好な自然環境を維持するうえで必要なものです。 私たちの先祖はリスクを承知の上で川とうまくつきあってきました。 昔は災害にあってもほぼ自己責任でした。 ところが、近年は知ってか知らずか危険地帯にどんどん住居や施設が建設され、災害が起きたら行政の責任が問われます。すると川の堤防が強化され、川本来の姿が失われていきます。 今こそ川のハザードマップを生かすときです。 危険地帯には極力住居等をつくらせないようにし、既存の施設は移動を促すべきです。 川の氾濫がなくなった時は、本当の川が失われてしまった時と思わなくてはなりません。	はがき
治水-12	直轄管理区間上流部の整備について	前田川地区(須賀川市)は河川整備は、ぜひ乙字ヶ滝までの整備をお願いしたい	前田川地区は河川整備の今後の検討により決定する様だが、ぜひ乙字ヶ滝まで整備をお願いします。 国管理区間内ということで、浜尾遊水地拡張計画があるということだが、それに伴い、乙字ヶ滝の固定堰を可動堰に変えるのは、この計画の中で策定できないものか。 というのは、今、矢吹町の事例を話したが、大きな原因となるのは、固定堰で流れがせき止められてしまい、そこで増水した水量が逆流・河川の中にたまってしまっていて、それが矢吹の、今話された地域まで害を及ぼすのではないかと考える。 ぜひ、浜尾遊水地の拡張に伴って乙字ヶ滝の固定堰の改修を計画の中に入れてほしい。	F A X 会場での発言(須賀川市)
③ 河川水の適正な利用および流水の正常な機能の維持				
利水-1	水質の保全・改善に関する目標について	阿武隈川を数値でも実際でも水質のいい、美しいそして安心、安全な河川を目指した計画策定を望む	阿武隈川が数値でも実際でも水質のいい、美しいそして安心安全な、河川を目指した計画策定を望みます。	会場での投書(伊達市)

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		意見要旨	意見内容	意見提出方法
I 河川整備計画に関する意見	水利-2	水質改善に向けた流域での取り組みについて	水質の向上を目指すには、支流更には家庭排水の浄化が重要であると考え、これらの対策を切望する	FAX
			生活排水（浄化槽・下水・農業）の水質を向上させてかつ、市民生活のかわりある整備を実施して欲しい。	はがき
			水質水準・BOD値の負荷を軽減するために、下水道施設の充実をする必要がある。	はがき
		水質改善が緊急の課題ではないですか。漁協組合との連携、地元自治体、企業、地元の方とも協議会を立ち上げて改善を図って行くことが大事	ここ数年阿武隈川を下って年々水質が改善されている事が体感できます。私がカヌーを通じてあくまでも「体感」できるのは、郡山から二本松区間の水質は目がしみるくらいひどいです。福島から下流は水も透き通りいい感じですよ。	インターネット
			水質の向上、阿武隈川はBODが1.3ないし1.5、できれば1.0で米代川くらいにしたい。これを実現するには、阿武隈川だけでなく、支流の浄化が必要。私は銅板をぶら下げて水質調査をしている。銅板は川から出る悪臭・アンモニアや硫化水素に反応する。2週間に1回ずつ、13箇所にぶら下げて回収している。支流からアンモニアや硫化水素が流れ込んでいる。	会場の発言(伊達市)
			魚が多く生息できるように、水質改善が緊急の課題ではないですか。漁協組合とも連携と、地元自治体、企業、地元の方とも協議会を立ち上げて改善を図って行くことが大事です。	はがき
			阿武隈川の水質改善策としてテレビ朝日系列で放送された「素敵な宇宙船地球号」『大都会のどぶ川の奇跡』ようなプロジェクトを組んで行なうのはいかがでしょうか。案として、国土交通省は阿武隈川の流域にある浄化能力ある植物を河川に植えるのと木炭（果樹の剪定時に出る枝やカンパツ材を利用した炭を利用）浄化装置を設置し、県及び市町村が住民に環境浄化微生物（公的機関が承認したもので安価で簡単にできるもの）の使用協力依頼をし、住民がそれを使用する方法です。住民と行政が一体になって行なうことにより川への関心も高まると思います。また、微生物は新たなものを入れるのではなく、元来そこに住み続けているを使用や住み続けていた微生物を回復させる方法が良いのではないのでしょうか。微生物を使用するので即効性は無いと思いますが、時間をかけることにより必ず効果が出ると思います。	インターネット
水利-3	水質改善に向けた意識啓発、広報について	水質を良くする運動や実践方策をもっと強力にすべき	水が売られている現状を当たり前だと思ふ人達に、水質の改善等は自分たちの手による因果応報となることの啓蒙も強くする必要があります	はがき
			福島市に住んでいた頃、阿武隈川は白鳥や花火大会をはじめ、水道水として飲んでいたり、県庁舎や市街地からも近かった為か親しみのある川でしたが、郡山市に住んでみると、福島と同じようなイベント等はありませんが、洪水の河川というイメージが強く、生活の中で身近に感じる事が無くなってしまいました。化学工場も多く悪水を排水する川でもありますし、汚水排水者として意識を高める必要がありますね。(BOD等では表せない化学物質を流していると聞いています)	会場の投書(郡山市)
			きれいな川を維持するためには一般市民の協力なくては出来ないと思うので、そのPRをもう少し大々的にしてはかがか	はがき
			全国でも生活雑排水対策が福島県は下位クラスです。水質を良くする運動や実践方策をもっと強力にすべきです。	はがき
			生活排水（浄化槽・下水・農業）の水質を向上させてかつ、市民生活のかわりある整備を実施して欲しい。	はがき
			我が国の大河川で唯一ダムが無い川であること、また珍しく北上する川であることなどをアピールして、阿武隈川の水質向上を図り河川とふれあえる場所が増えればいいと思っております。	はがき
			今はわかりませんが、10年前第3中学校給食に「阿武隈汁」と名の付いたメニューが有り、味は良くとも・・・。阿武隈汁が良いイメージになる川にしてください。	インターネット
			河川浄化を一部のボランティアの人達がやっているが、流域の市町村では生命の源は水であることを住民に力説しクリーン作戦を徹底させること。漁業組合は率先して河川浄化にあたること。	はがき
			全国で一番きれいな川がうちの実家のすぐの荒川(須川)だと聞いた。あそこは、三歳くらいの子供が足を入れて川の水に浸って遊ぶことができる。きれいだからこそできるのだと思う。今は川に入っただけで禁止されているが、子供が夏の暑い日に足首に浸って遊ばせるのはどうか。それから、川をきれいにするにはどうしたらいいかを教室や遊戯室で考えさせる。ごみの集まりやすい場所、小魚や沢蟹の集まりやすい場所、流れの危ない場所、流木のあつまりやすい場所、おとなでもいい。子供と大人に川に浸って周りを見渡す。それを一定の時期(夏)に実施してみる。阿武隈川の整備に役立つと思う。	インターネット

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		意見要旨	意見内容	意見提出方法
④ 河川環境の整備と保全				
環境-1	環境に対する考え方について	河川整備については、治水対策が主たる目的としながらも、自然環境に配慮した対策も重要であると認識しております	河川整備については、治水対策が主たる目的としながらも、自然環境に配慮した対策も重要であると認識しております	FAX
			・地域の環境に合った自然にやさしい計画を	はがき
			・環境を阻害しない整備計画	はがき
			「川・人・地域」に人と川のふれあいが謳われているが、治水が最優先されているとは思われない。	はがき
			「平成の大改修」で仮堤防が多くつくられたが、工事後あの大量の土砂は大平川に流れてしまった。これによって死滅した生物は多かったであろう。治水の工法にこうした自然環境への配慮は無く「自然との共生」というのはナンセンスと思ってしまう。	はがき
		川と人のふれあいが謳われているが、治水が最優先されているとは思われない	この会に人が集まらなくてがっかりしている。このような事態は、環境などへの対策の遅れの原因となると思う。ドイツでは川の護岸工事は自然のものにしようということをやっており、道路の舗装も車が通るところだけ舗装している。何で日本はドイツのようにパチッとできないのかなと思っているが環境を抜きにしないでいただきたい。琵琶湖では30年前に始まっている。お上が変わっていかなくちゃと思う。これは私の意見であり質問ではなく、こういうことを認めていただきたいと思ひ発言した。	会場の発言(角田市)
環境-2	河川とのふれあいの場の整備について	子ども達が簡単に川に行け、遊べる環境づくりをお願いしたい	私たちの住むところに五百川があります。小さい頃は四季折々に欠かさない遊び場所でした。水もきれいで魚もかじかを始め多くの種類が住んでおりました。大人になり今の子ども達にあのような光景を見せてやりたいとつくづく思います。子供達が簡単に川に行け遊べる環境づくりをお願いしたい。堤防からすぐにおられるところをつくって欲しい	はがき
			市民が安心できる親水性のある川づくりをしてほしい	人と河川とのふれあいの場の創出について、県中地区には整備された場が無く大変残念です。そのせいか、阿武隈川にしたしみをもつことができません。
		人と河川とのふれあいの場の創出について、県中地区には整備された場が無く大変残念	全国で一番きれいな川がうちの実家のすぐの荒川(須川)だと聞いた。あそこは、三歳くらいの子供が足を入れて川の水に浸って遊ぶことができる。きれいだからこそできるのだと思う。今は川に入っただけで禁止されているが、子供が夏の暑い日に足首に浸って遊ばせるのはどうか。	インターネット
			市民が安心できる親水性のある川づくりをしてほしい。	会場の投書(郡山市)
			さかなつりをもっと自由にできるように、安全につりができる場を確保していただけませんか	はがき
			・地域の環境に合った自然にやさしい計画を ・河川とふれあいの場の設置	はがき
			日常の河のメンテナンス(草刈等)が行き届いており、河のオープンスペースを十分に感じることができるとのことです。今後ともよろしく願います。	会場の投書(郡山市)
			市民生活のかわりある整備を実施して欲しい。親水公園とか。	はがき
環境-3	阿武隈川を知るための施設の整備、活用について	阿武隈川の歴史・生物を紹介する施設を設置して欲しい	阿武隈川を紹介する淡水魚博物館(淡水魚だけでなく、歴史なども紹介する)を郡山あたりに設置していただけないでしょうか。	はがき
			水運の歴史上重要であったと思われる福島市内や岩沼市の河口付近も説明や川を直接望むスポット等特に無かったことが残念でした。	はがき
			学水館を宣伝活用してほしい	会場の投書(岩沼市)
環境-4	カヌー等河川水面利用者のための船着き場等の整備について	カヌーも川とのふれあいのひとつと位置付けしたとき、宮城・福島県境部はあぶくま急行線の沿川でもあり、ピギナーからベテランまで楽しめる区間であり、兜駅の近傍に川の駅をつくってほしいかがか	河川整備の目的のひとつに川とのふれあいというのがありますが、カヌーも川とのふれあいのひとつと位置づけしたとき、兜駅〜あぶくま区間は、激流続きになっており、ホワイトウォーターというカテゴリーの立場では楽しい区間であり、ツーリングの立場では危険な区間です。福島県と宮城県県境をまたぐ区間でありあぶくま急行線の沿線でもある区間です。兜駅の近傍に川の駅を作ってほしいかがか? ホワイトウォーター派の人は阿武隈急を利用しての兜〜あぶくま区間を楽しみ、ツーリング派の人は福島〜河口までの区間で兜〜あぶくま間を電車と避けるというのはどうでしょうか? ピギナーからベテランまで楽しめる施設かと思ひます。	インターネット
			ボート遊びやカヌー等できる設備を充実させて欲しい	会場の投書(岩沼市)

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		意見要旨	意見内容	意見提出方法
環境- 5	外来種対策について	外来種の支流への侵入を調査し、対策を検討して、地域住民に現状を周知徹底し侵入防止の対策に協力を得られる体制を作してほしい	近年、生態系の乱れが著しい中で、外来種から生態系を守ることも阿武隈川の河川環境保全の一環として重要なことであると考えさせられました。	はがき
			キヒロセイタカアワダチ草等の外来種を何とかして下さい。	はがき
			川添えの道の両側にセイタカあわ立ち草やすきなど高く伸びていて、土手や蔵玉連山、そして川面など眺められない。堤防と同じく刈り取っていただけませんか。	はがき
			河川敷の外来種の花粉が風で飛んで、あんぼ柿の名産地なので、衛生面で問題になっている。堤防は草を刈って花粉が出ないようにしているが、富野川の方は、セイタカアワダチ草、アレチウリ、ヤナギ、ガマ等の穂が一番悪い。30～40mの所に干し場があり、風向きによって目に余る状態のときがあるので、穂が出る前に対処してほしい。公有地なので、誰も入ることができず、悩みの種になっている。	会場での発言(伊達市)
			生物の外来種の支流への侵入を調査し、対策を検討し、地域住民に現状を周知徹底し侵入防止の対策に協力を得られる体制を作る。	F A X
			外来種について、支流の方はどの程度調べているのか。調査して対策を立ててほしい。	会場での発言(伊達市)
			・アレチウリ・セイタカアワダチ草の根本的解決策が不明。(伐採では根が残り、また生えてくる。)(面積が広すぎるため、伐採は不可能。)	会場での投書(郡山市)
環境- 6	自然に配慮した河川工事の実施について	河川工事は自然に配慮し、コンクリート舗装、石積み、U字溝などの工事は最小限にして欲しい	外来魚、外来植物を減らして欲しい	会場での投書(岩沼市)
			環境面を考えると、水源は最も重要であるし、外来魚コクチバスは西郷でも生息しているなど、利水・環境は源流域ぬきには考えられない事である。	はがき
			自然を残す保全を重視し、コンクリート舗装、石積み、U字溝などの工事は最小限にして欲しい。	F A X
			自然について、三面コンクリート張りやU字溝を入れたため、ある川では、PHが12になった川もある。そして、ホテルがほとんどいなくなった。今後やらないでほしい。	会場での発言(伊達市)
梁川町舟生字宮ノ前地内の護岸工事で自然との共成と云うことで、コンクリートで全面張り、その上に土を盛り、土による護岸を行いました。が作って4ヶ月程で土が流れてしまい現在無残な姿となっております。一度見てほしいと思います。	会場での投書(伊達市)			
野鳥など自然の保護等にも配慮してほしいと思います。	はがき			

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		意見要旨	意見内容	意見提出方法
環境- 7	河川利用と観光振興について	福島観光事業に貢献する観光船等やボート、川での水遊び花見山公園、弁天山など阿武隈川を中心に市民はもとより、観光客にアピールできる資源としてほしい	福島観光事業に貢献する、屋形船又は観光船、ボート、川での水遊び、並びに花見山公園、小倉寺観音、小鳥の森、弁天山、奥の細道など阿武隈川を中心に市民ももとより、観光客にアピールできる資源としてほしい、土湯温泉、飯坂温泉、吾妻スカイライン等とつなげれば、滞在型の観光に貢献できると思います。	インターネット
環境- 8	連続性の確保について	阿武隈川途中の東北電力のダムにある魚道を開いて魚が自由に行き来できるようにすべき	阿武隈川の中にはダムがあり現在東北電力との都合で魚道が開いていないそうです。これではいけないと思います。	会場での投書(二本松市)
		阿武隈大堰の魚道では、海で孵化して遡上するうなぎが上流と下流とを自由に行き来できるようにされていなければなりません。	川をきれいに魚のすめる様にとありますが川は魚等が上流と下流とを自由に行き来できるようにされていなければなりません。	会場での投書(郡山市)
環境- 9	水辺へのアクセスの確保について	川に親しめるようにするのであれば、車で下りていけるような道を作してほしい	蛙がのぼってくる川にしてほしい	はがき
		川に親しめるようにするのであれば、車で下りていけるような道を作してほしい	阿武隈大堰の魚道では、海で孵化して遡上するうなぎが上れなくて極めて大変なことだということを聞いたので対策をお願いしたい。	会場での発言(角田市)
		川原に親しむ者として大変不便に思っていることがある。例えば伊達崎橋付近では、素晴らしい石川原が続いていて、釣り人やキャンプの人に親しまれている。そのように西岸は車で下りていけるようになっていて親しまれているが、東岸は広いのに車で下りられない。これから川に親しめるようにするのであれば、車で下りていけるような道を作してほしい。	「川・人・地域」に人と川のふれあいが謳われているが、治水が最優先されていると思われない。阿武隈川本流で水遊びをしたいと考える人がいるだろうか。少しでも水のきれいな荒川中流で遊びたいと思っても、堤防はどこも進入禁止。広い川原に車で行き、魚とり、水遊び等の野外活動が出来るようにすべきだ。	はがき
環境- 10	高水敷の利用について	河岸堤防(広場含め)、運動場やサイクリングロードを充実させて欲しい	河岸堤防(広場含め)、運動場やサイクリングロードを充実させて欲しい	会場での投書(岩沼市)
		かつては高水敷にゴルフ場があったが、今はなくなっている。例えばグラウンドゴルフができる施設などがあるとよい遊び場になるのではないか。	植物油をリサイクルして石鹸をつくるという菜の花プロジェクトを立ち上げ、水質改善などを目指した活動をしている。枝野橋下流の高水敷について、菜の花を栽培できるように整地していただくか、助成金を出していただくか、などの援助をお願いできないか。	会場での発言(岩沼市)
環境- 11	浜尾遊水地の利活用について	浜尾遊水地は魅力的な生物層と貴重な生態系が構築されつつあるので、この自然資源を有効活用してほしい	浜尾遊水地は魅力的な生物層と貴重な生態系が構築されつつあります。この自然資源を有効活用してほしい。そのためにも、遊水地の利用方針や利用規則を早く明確にしてほしい。いまのままだと希少種の野鳥などが定着できなくなる可能性がある。	はがき
環境- 12	海岸侵食と河川からの土砂供給の関連について	河口の土砂の撤去について、海岸の侵食との関連もあり、そのメカニズムについて検討してほしい	河口の土砂の撤去について、海岸の侵食との関連もあり、そのメカニズムについて検討してほしい	会場での投書(岩沼市)

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		意見要旨	意見内容	意見提出方法
⑤ 維持・管理				
管理- 1	河道管理(樹木伐採、堆積土砂除去)について	堆積土砂は河川の機能を低下させるばかりではなく、様々な障害を生み出しているため計画的に土砂撤去を実施すべき	私が子供の頃は、河川改修直後で郡山市中心部の阿武隈川は大変きれいで親しみやすい場所でした。現在は樹木や深い草むらでうっそうとしており、また中州も多く、川底が浅くなっているものと思われま。樹木の伐採や河道掘削が堤防を護るうえでも至急実施すべきと考えます。	はがき
			河道内の樹木、土砂堆積の定期的な除去が望まれている。	はがき
			河川敷内の森林を間伐し、景観を良くして欲しい。われわれ子供の頃の河川敷もうすこしキレイで、キリギリスもたくさん鳴いていました。	はがき
			堤防に土砂が積もり、柳の木が生えていて、堤防より高い。太さ直径15~20cmの大きな木。中宿橋から東部環状の未来大橋までずっとある。一番ひどいのが、中宿橋から未来大橋間の堤防に柳の木がうっそうと生えているが、コンクリでできた堤防の上に生やしておいてもいいものか。適切に除去して川の水の流れをよくしてもらいたい。	会場での発言(須賀川市)
			本宮地区右・左岸が現在、樹木、砂積が多く見受けられ、それ等により流れをさまたげられるのではないかと、処置、管理をお願いしたい。	会場での投書(二本松市)
			河川敷のヤナギは国の方できちんと2年に1度くらいは伐採してほしい。地元でボランティアが毎年苦労して伐採している。	会場での発言(二本松市)
			堤防の強化や築堤も必要だが土砂の液漂などの維持管理も重要では	会場での投書(郡山市)
			今後、30年間の計画であるということであるので、当面の対策として、河道内の樹木伐採をして欲しい。あわせて河道内の堆積土砂を撤去してほしい	会場での発言(二本松市)
			最近また土砂が高くなってきており、堤防を作るだけが川づくりではなく、土砂を取り除き流れをよくするのも川づくりだと思う	会場での発言(伊達市)
			県、市町村が管理する中小河川に堆積した土砂等は河川の機能を低下させるばかりでなく様々な障害を生み出している。堆積土砂除去を計画的に実施すべきである。	会場での投書(須賀川市)
			川に積った土砂を取り除き、スムーズな流れにする。(木も)	会場での投書(伊達市)
			年々河に土砂が堆積して川底が浅くなっているため、上流から年次計画で川底を浚って川底を下げる。 ※これも今の技術では出来る筈です。	封書
			右岸・左岸の立ち木がだいぶ生茂っている。57ページに載っているように、土砂が堆積して、水の流れを妨げているように思う。できれば年度契約のような形で、堆積土砂の除去等をしてほしい。	会場での発言(二本松市)
			本宮町が堤防整備及び河道掘削の対象となり安心しましたが、今後30年間の計画ということであるので、当面の対策として河道内の樹木伐採をお願いしたい。あわせて河道内の堆積土砂を取ってほしい。	会場での投書(二本松市)
			河川敷内の森林を間伐し、景観を良くして欲しい。われわれ子供の頃の河川敷もうすこしキレイで、キリギリスもたくさん鳴いていました。61年8月の大洪水の時の川底は、現在よりも1m50cm位下がっていたので水害は免れたと思うが、現在は土砂が堆積しはじめたので取ることは出来ないのかと思います。昔は、大水の度に化の流れは変わっていたが、今は何の変化もない。	はがき
川の中心より100m位いの立木のばっさいをして流れを良くしてはどうか(場所は智恵子橋の下流)	会場での投書(二本松市)			
堤防や中洲にある樹木を伐採すれば水の流れもよくなり、景観もよくなるのでは。	会場での投書(郡山市)			
堤防の除草だけでなく河川のなかの樹木の刈払いを行う必要ではないか。	会場での投書(伊達市)			
堤防に土砂が積もり、柳の木が生えていて、堤防より高い。太さ直径15~20cmの大きな木。中宿橋から東部環状の未来大橋までずっとある。一番ひどいのが、中宿橋から未来大橋間の堤防に柳の木がうっそうと生えているが、コンクリでできた堤防の上に生やしておいてもいいものか。適切に除去して川の水の流れをよくしてもらいたい。川底も上げ底なので、土砂をさらって、流れをよくしてほしい。	会場での発言(須賀川市)			
川の流れを良くすれば、堤防を高くするよりいいのではないかと。以前建設大臣に陳情して川の中にたまった土砂を取ったら、大変流れがよくなった。最近また土砂が高くなってきている。堤防を作るだけが川づくりではなく、土砂を取り除き流れをよくするのも川づくりだと思う。	会場での発言(二本松市)			
ゴミの投棄、流入を防ぐモラルの向上を	はがき			

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		意見要旨	意見内容	意見提出方法
管理- 2	不法投棄について	砂州にあるタイヤをどうにかしてほしい	釣りをしている人達に限らず、ゴミを捨てる人が多いので、パトロールをして注意ではなく警告ぐらいの姿勢で取り組んで下さい。	はがき
			枝野橋の付近の高水敷は不法投棄が非常に多い。不法投棄がされないようなきれいな河川敷を作っていただきたい。	会場での発言(角田市)
			砂州にあるタイヤをどうにかしてほしい	はがき
			河川側道は不法投棄の場所となっているので、パトロールはその辺もパトロールすべきです。	会場での投書(二本松市)
			堤防の何箇所かにある、退避場にゴミが多く捨ててある。トラックのタイヤが川原にたくさん捨ててある。色が黒くて目立つ。中に砂利が詰まっていて、一人では片付けられない。こういうものは、草刈と同時に国交省で予算を確保して、目立つゴミは除去してほしい。	会場での発言(伊達市)
行政と民が一体となった更なる清掃活動の推進を望む	海岸に打ち上げられた多量のゴミを見るたび、日本人のモラルの低さを嘆きつつも、行政と民が一体となった更なる清掃活動の推進を望む	はがき		
管理- 3	河川区域内の違法行為について	管理用道路の管理をして違法建築、違法造成に毅然と対応してほしい	管理用道路の管理をしてもらいたい、一般道路と違い問題が起きてからでは遅いと思います。違法建築、違法造成に毅然と対応してほしい。	インターネット
管理- 4	防災・危機管理情報の提供について	洪水被害での危機管理などでわかりやすく市民に災害・防災情報を伝えることの大切さを実感した	警戒水位・指定危険水位は、一般の市民の人はわかりにくいのではないかと。梁川橋や広瀬川の橋の近くに表示的な目標を作ってほしい。市街地の方も内水の心配もあるが、外水の洪水状況が一目でわかると思う。ハザードマップも大切だが、目で見てわかる表示も必要だと思う。	会場での発言(伊達市)
			参加者の意見でも出ました、洪水被害での危機管理などでわかりやすく、市民に災害・防災情報を伝えることの大切さを実感した。	会場での投書(伊達市)
			洪水に対して、住民に早めの避難をといっているが、避難しなくてよい川づくりを重点的に進めてください。	会場での投書(郡山市)
			上流での大雨の情報を迅速に知らせてほしい	会場での投書(岩沼市)
管理- 5	内水排水ポンプ車の操作運用について	平成10年の洪水において排水ポンプ車を要請し現地に来て貰ったが、利用できる人がいないため、なかなか動かなかった。ポンプの維持管理だけでなく、訓練も必要	私は水防団として活動していますが、平成10年の洪水において大正樋門のところで内水排除のために排水ポンプ車を要請して来てもらったわけですが、利用できる人がいないためなかなか動きませんでした。排水ポンプなどの維持管理だけでなく、有事の時すぐに作動できるように訓練も必要だと思います。	会場での投書(伊達市)
管理- 6	河川内のゴミ処理について	洪水後の流木・ゴミ等の速やかな撤去をお願いしたい	洪水後の流木・ゴミ等の速やかな撤去をお願いしたい	会場での発言(角田市)
			洪水があった時の速やかなゴミの撤去作業というものを要望したい。	会場での発言(角田市)
			土手のブッシュには、大水のたびに上流から流れてきたゴミがひっついていて、自然に腐るゴミはいいが、そうでないものも多い。焚き火は禁止のようなので、回収して撤去してほしい。放っておけば宮城に流れていくが、今ゴミがとどまっている地域の責任として撤去する必要があると思う。	会場での発言(伊達市)
			河口のゴミ問題、水質の保全	会場での投書(岩沼市)

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

II その他の意見		代表意見	意見内容	意見提出方法
① 阿武隈川水系河川整備計画の進め方について				
その他- 1	河川整備計画における住民参加の仕組みについて	阿武隈川沿川の市町村住民から意見を聴いて計画を策定することに共感する	阿武隈川沿川の市町村住民から意見を聴いて計画を策定することに共感します。	会場での投書(角田市)
その他- 2	意見を聴く会の開催趣旨について	今回の地域の人々の意見を聴く会に関して、河川計画に対する地域の人達との意見交換の場なのに、要望、要請が90%を占めた。的はずれの意見で、要望・要請は別の場と思う	今回の公聴会(地域の人々の意見を聴く)に関して、河川計画に対する地域の人達との意見交換の場なのに、一部人達の要望とか要請が90%を占めた!それと、この人達は全く素案を読んでいない様に思え、的はずれの意見(要望・要請は別の場と思う。)	はがき
② 直轄管理区間外の整備等について				
その他- 3	福島県管理区間の整備について	最上流域は福島県の管轄になっており、国直轄との差があるように感じる(特に情報)。河川の源、上流部にも特に配慮していただきたい	最上流域は福島県の管轄になっており、国直轄との差があるように感じる(特に情報) 河川の源、上流部にも特に配慮していただきたい。 平成10年8月27日の豪雨は平成の大改修へと。この大改修計画に取り入れられなかった流域及び本計画に上げられない区域で氾濫の常習流域への対応は如何に! (乙字滝上流 三城目玉城橋付近) ご回答願いたい。	はがき 会場での投書(須賀川市)
その他- 4	支川も含めた流域全体の治水対策について	支川も含めた流域全体の治水対策をしてはどうか 支川においても堤防、橋、遊水地が更に完備すれば洪水も緩和されると思うので、本流同様に調査対象をすすめてほしい	阿武隈川の沿川だけでなく流れ込む支川の上流、洪水と関係ない地域でも遊水地を造るなど流域全体での治水対策をしてはどうか(土地買収費が安く経済的では) 支川において堤防、橋、遊水地が更に完備すれば洪水も緩和されると思うので、本流同様に調査対象をすすめてほしい。 30年先を考えた場合、本流だけでなく、支川についてももっと力を入れてほしい。 本流は治水が中心であるのに対し、利水・環境・文化交流は支川が問題になるのではないかと。	会場での投書(郡山市) FAX 会場での発言(伊達市)
その他- 5	支川小田川の整備について	阿武隈の支流 小田川の方にもホテルがあるような川にしてほしいと思う	小田川の公園を作っていたいただきましたが、こちら側にはコンクリートで打ってあり、ホテルが生息しなくなった。 阿武隈の支流の方にもホテルがあるような川にしてほしいと思う。 支川(小田川など)の公園などを造るとき??をお願いしたい 小田川の公園を作った時に川をせき止めるようにして大きな石を置いていた。大きな水が出た時にはその石に草が絡み、水が流れない状態となっている。 なぜこのようなことを最初の設計の段階で考慮していただけないのか。 また、このようなことを行う際には地域の住民に情報を流してもらいたい。	会場での発言(角田市) 会場での投書(角田市) 会場での発言(角田市)
その他- 6	支川水原川の整備について	J R東北本線水原川ガード下の河川が整備されないままになっており、大雨の際水の流れるが悪くJRの上流側の水田に水があがるのが時々あります。ガード下から上流部の河川整備をお願いしたい	J R東北本線水原川ガード下の河川が整備されないままになっており大雨の際水の流れるが悪くJRの上流側の水田に水があがるのが時々あります。 聞く所によるとJ Rのガード下は中央のピーヤを境に半分がJR、半分が県の管理になっていると聞きました。 県側が整備されていないので流れが悪く上流側の河川内に多くの土砂が堆積され樹木等が繁生してより災害を大きくしております。 近い将来にはガード下を整備をし上流の河川内の整備をお願い致します。 近くにある水原川に以前は歩道より川面に降りて水遊びが出来たのが、大水が出た際に修理をしたところがあって、勾配がきつくと簡単に歩いて降りるのが難しくなったようです。 コンクリートで固めれば二度と崩れないだろうとの考えで整備を行ったのだと思うが、川とふれあう事や自然の景観はなくなっているのではと残念です。 業者へ頼めばどこもかとも同じ形で整備されていることはもう少し考えて欲しい。 (二本松駅周辺の河川の整備のしかたも終了近い様だが、あれで良いのか疑問です。)	会場での投書(二本松市) はがき はがき

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

II その他の意見		代表意見	意見内容	意見提出方法
その他- 7	支川阿由里川の整備について	阿武隈川と重要河川の阿由里川の合流地点で阿武隈川の流れるが悪く、そこで阿由里川の水が逆流して陣ヶ岡地区・東川原地区が被害に遭っている。残された地域の方々も大変心配しているので、ぜひ検討していただきたい	私は12年前、矢吹町東川原の阿武隈川近くに住んで居りました。台風のために阿武隈川から阿由里川へ逆流し陣ヶ岡、東川原地区は何回となく水害にみまわれて居ります。県南・県中砂防課長も現地において頂いて居りますが、その後の返事が無い所です。町としても陳情書を出しております。1日も早い改修工事を御願ひしたい所です。 矢吹町三城目地区で阿由里川と阿武隈川の合流地点が、大雨のためにバックウォーターで阿由里川が氾濫するので、今回の整備計画でぜひ解消してほしい。 昭和61年の台風のときは、現住所が東川原にあり、その後4回ほど洪水に見舞われた。県の方にも水害に遭った写真等も送付しているが、去年か一昨年、県南・県中の砂防課長や県知事も来て視察をしたが、その後返答がなく、大変心配している。水害の箇所は、阿武隈川と重要河川の阿由里川の合流地点で阿武隈川の流れるが悪い。そこで阿由里川の水が逆流して陣ヶ岡地区・東川原地区が被害に遭っている。私としては、残された地域の方々も大変心配しているので、その辺もぜひ検討していただきたい。	会場での投書(須賀川市) 会場での投書(須賀川市) 会場での発言(須賀川市) 会場での発言(須賀川市)
その他- 9	支川古川の水質保全のための導水について	保原町の古川に、阿武隈川本流から灌漑用水として取水している「東根堰」の水を常時(一年中)流して欲しい	保原町の古川に、阿武隈川本流から灌漑用水として取水している「東根堰」の水を常時(一年中)流して欲しい。 東根川の支流に流れ込む古川は東根堰のかんがいで水路でもある。かんがいで期の4~9月は水量が多いが、冬場は水量が少ない。そうすると家庭排水が多くなり、水温が2度も高くなる。できれば東根川に一年中流してほしい。そうすれば攪拌も起こって、自浄作用により水質がよくなると思う。	FAX 会場での発言(伊達市)
その他- 12	五十沢地区の国道整備について	道路が国道349の上の方にできるのではないかと20年前にあったが、どうなったのか。陸の孤島になってほしい。	道路が国道349の上の方にできるのではないかと20年前にあったが、どうなったのか。陸の孤島になってほしい。 梁川地区最下流の五十沢地区無埒地帯に住んでいるものですが、特に国道移転の話もあるが、いつ実現するのか?計画があれば早くしてもらいたい。	会場での発言(伊達市) 会場での投書(伊達市)
③ 国土交通行政へのご意見・ご質問について				
その他- 13	堤外民地の買収について	堤防の内側の土地(高水敷)の利用について、今後の計画で残地の買収をお願いします	堤防の内側の土地の利用について、今後の計画で残地の買収をお願いします	会場での投書(二本松市)
その他- 14	無埒地区の農地について	どう見ても洪水が溢れることが過去に繰り返されてきた地形であると思う。そこについては、どうしても洪水は起きてしまうので、農地を現状の状態に維持することにより下流を洪水から守るのだと考えれば、被害に遭う田畑は補償の対象となってもいいのではないかと	遊水地について、地形図を見て、どう見ても洪水が溢れることが過去に繰り返されてきた地形であると思う。そこについては、どうしても洪水は起きてしまうので、農地を現状の状態に維持することにより下流を洪水から守るのだと考えれば、被害に遭う田畑は補償の対象となってもいいのではないかと	会場での発言(二本松市)
その他- 15	河川内の堆積土砂の利活用について	堆積土砂の利活用の方法を考えてはどうか。土砂を必要としている人がいれば一定量は無償で譲っては	単に水が上がってしまうところについて、作物が作ればベストだが、そうでなくても他の形で自然に対して貢献することも考えた方がいいのではないかと	会場での投書(二本松市)

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

II その他の意見		代表意見	意見内容	意見提出方法
その他-16	河川舟運について	信夫ダムから太平洋まで船が通行できるように川底を整備してほしい	信夫ダムから梁川、太平洋まで船が通行できるよう、川底整備。福島観光事業に貢献する、屋形船又は観光船、ボート、川での水遊び、並びに花見山公園、小倉寺観音、小鳥の森、弁天山、奥の細道など阿武隈川を中心に市民わもとより、観光客にアピールできる資源としてほしい、土湯温泉、飯坂温泉、吾妻スカイライン等とつなげれば、滞在型の観光に貢献できると思います。	インターネット
その他-17	天端舗装と併せたサイクリングロードの整備について	堤防の質的整備の1つに天端舗装が提案されているが、その整備の際にサイクリングロードを併せて整備して欲しい	堤防の質的整備の1つに天端舗装が提案されているが、その整備の際にサイクリングロードを併せて整備して欲しい。利用することで川に親しみを持つことができるのではないのでしょうか？	はがき
その他-18	水資源確保の観点からダム整備の推進について	日本の100年先の温暖化を想定し、限りある水資源確保の観点から、河川整備以上にダム整備を推進し、川の安全対策が図られないか	日本の100年先の温暖化を想定して、限りある水資源確保の観点から、河川整備以上にダム整備を推進し、河の安全対策が図られないか。自然環境の保全は大事ではあるが、それ以上に100年先を見据えたエネルギー対策や資源確保対策をまだ金を使える内に行って貰いたい。国土交通省にはぜひ世論をリードし推進してもらいたい。	はがき
その他-19	放水路、トンネル等による治水対策について	狭窄部の解消策として、トンネルによる放水路の検討は出来ないか	狭窄部の解消策としてトンネルによる放水路の確保はどうなのかの検討はできないものか。	会場での投書(伊達市)
			洪水防止の為に本宮あたりからバイパスを一部トンネルで相馬に流す。 ※今の技術では出来る筈です。	封書
			阿武隈川の宮城県丸森町よりトンネルで太平洋に流すことにより川の流れが良くなり、伊達市以南の水量が下がると思う。	会場での投書(伊達市)
			県境から太平洋にトンネルは？	会場での投書(伊達市)
			利根川、信濃川のように下流部で分水する。⇒県境を広くできる。	会場での投書(伊達市)
その他-20	河川環境に関わる団体への支援について	支流の水質や環境などの保全活動を行っている個人、団体等に支援の手を差し延べてほしい	支流の水質や環境などの保全活動を行っている個人、団体等に支援の手を差し延べてほしい。	FAX
その他-21	河川に関する広報について	河川はみんなの財産であることを機会があるごとに広報すべき	河川はみんなの財産であることを国は常に、機会があるごと広報すべき、監視カメラで管理するより人の目、市民の遊び場であることが川の環境をよくするのです。	インターネット
その他-22	流域内の浸透能力、保水力の低下による影響について	上流や山の上まで舗装しており、側溝が三面舗装になっていて、雨が降ったらそこを鉄砲水が流れ、保水力がない山は崩れる。国土交通省でどうしたらよいかというのを研究していただきたい	上流や山の上まで舗装しており、側溝が三面舗装になっていて、雨が降ったらそこを鉄砲水が流れ、保水力がない山は崩れる。これは山だけでなく川も道路も同じだと思う。そこを国土交通省でどうしたらよいかというのを研究していただきたいと思う。	会場での発言(角田市)

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

II その他の意見		代表意見	意見内容	意見提出方法
④ その他				
23 その他			伊達市梁川町桂野地域の道路はカサ上げがすすんでいるが、大越地内(大石橋)が一寸した大水で上がるのです。	会場での投書(伊達市)
			堤防敷地の美化協力をお願いしたい	会場での投書(角田市)
			堤防の草刈だけではなく、堤防敷を山菜の里などにしたらどうだろうと思っている。	会場での発言(角田市)
			毎年、雨の時期になると洪水が心配でなりません。整備局をはじめ、地元消防団の方々には、本当に感謝いたします。ありがとうございます。今後とも、緊急時の体制を整えていただくことと、いざという時の早め早めの対応をお願いいたします。	インターネット
			県にはもちろん伝えてあるが、皆さんの所に伝わらないのが実態であると今感じた。私も、もう何十年とこの地域に住み、この状況を目で見て、苦しんでいる人々の姿を見ている。したがって、管理区域外だからと言うばかりでなく、せっかくの機会の話もぜひとも河川改修実現に向けて取り組んでほしい。	会場での発言(須賀川市)
			国見町徳江八景下、右岸堤防がなく崖になっているところ、侵食が激しい箇所あり。人家もあり対策をお願いします。	会場での投書(伊達市)
			支流のポンプアップの施設にゴミ取り機(自動)を付ける。	会場での投書(伊達市)
			梁川町には、塩野川、広瀬川、伝樋川やその他の支流などが阿武隈川に注ぐ。増水のたびに水門を閉められると、内水の処理が一番必要となる。本宮から福島まで70mくらいの落差がある。深川から閉上までは40mないので、梁川町にだぶつくのは当然。台風は毎年来るので、平成の大改修のときに、洪水の内水対策として、移動式のポンプで内水処理する約束をしてもらった。今後も守ってほしい。旧梁川町から配布されたポンプがあるが、台風や大雨のときに堤防のところまで持って行って排水するというのは危険だった。堤防の敷地内にポンプの保管場所を作ってほしい。危険も少なくなるし、容易に排水作業できる。	会場での発言(伊達市)
			本宮町右岸山玉川原地域に越冬白鳥が飛来約300羽について中洲を造って頂きたいです。※安全、安心して越冬出来る様。	会場での投書(二本松市)
			美観のある堤防の作成(植木等)	会場での投書(岩沼市)
			五十沢地区、富野地区の洪水の原因はサルパネ岩にあるという風評が立っている。先ほど、サルパネ岩の景観を残すという説明があり安心した。30年後の自分の子孫もサルパネ岩の景観が残ると思うと来てよかった。あの岩を取れば流量が多くなって、洪水が出ないと梁川地区の人は思っていたそう。うちの部落としても、サルパネ岩は自慢の岩であり、今後梁川町のシンボルとして国交省の方でも宣伝して観光地のために役立ててほしい。	会場での発言(伊達市)
			特にありませんが、川付近はいじめの現場になりやすい。周囲の配慮で細かく気をつけましょう。と思います。	インターネット
			学水館では職員の対応がすばらしく、非常に感謝している。	会場での発言(岩沼市)
			阿武隈川だけでなく、我が町柴田の白石川のことも知りたいと思いました。	はがき
自然環境の保全は大事ではあるが、それ以上に100年先を見据えたエネルギー対策や資源確保対策をまだ金を使える内に行って貰いたい	はがき			
P24の写真 安積疎水の取水口(十六橋水門) 間違っている。	はがき			
昨年、子供の夏の自由研究のため、資料をいただきに伺いました。おかげさまで、阿武隈川が奥羽山系から始まり、阿武隈山地を横切る不思議な流れ方であることや、天領としての福島の生糸や米を運ぶ江戸時代の重要なルートであった事など、親子で興味深い勉強ができました。大変お世話になり、有難うございました。ご発展をお祈りしています。	はがき			

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		質問要旨	質問内容	意見提出方法
① 河川整備計画全般				
共通- 1	河川整備の対象期間について	整備工期を短期間にできないか。長期では効果が出ないのでは	整備工期を短期間にできないか。長期では効果が出ないのでは	はがき
			この計画の30年後、もっと先の50年後を考えた検討をしてもいいのではないかと思うが、これに対するお答えをいただきたい。	会場での発言(角田市)
			この計画の30年後、もっと先の50年後を考えた検討をしてもいいのではないかと思うが、これに対するお答えをいただきたい	会場での発言(郡山市)
			対象期間は概ね30年間としていますが、今回の整備内容は10年もあれば実施できそうですが、もっと早く実施はできないのですか？	会場での発言(伊達市)
			基本的な理念・考え方には賛同します。意見で多く出た、30年という期間・スケジュールを再考できるか。(少しでも短く)。	会場での発言(伊達市)
共通- 2	河川整備計画の事業費について	整備計画における事業費はどの程度を想定しているのか	この計画を実施するのに総額はどれ位になりますか？	会場での発言(郡山市)
			整備計画における事業費はどの程度を想定しているのか	会場での発言(岩沼市)
共通- 3	河川整備計画の見直しについて	計画の見直しは具体的にどのような状態になれば行われるのか	計画の見直しは具体的にどのような状態になれば行われるのですか？	会場での発言(郡山市)
共通- 4	河川整備計画全般について	治水と環境や景観への配慮を両立させるのは難しいと思われませんが、具体的な方針はあるのか	治水と環境や景観への配慮を両立させるのは難しいと思いますが、具体的な方針はあるのですか？	会場での発言(郡山市)
共通- 5	市民や他機関との連携・協力について	生態系の改善を図るため、官民一体となった組織づくりと共同作業、監視体制の強化が必要ではないか	生態系の改善をはかるため、官民一体となった組織づくりと、共同作業、監視体制の強化が必要ではないですか。	はがき
② 洪水、高潮等による災害の発生防止または軽減				
治水- 2	整備箇所の優先度と上下流のバランスについて	整備計画では、上下流のバランスをとったことだが、上流域に重点を置いているということか	上流部の水を流す能力の達成率が低い。整備計画では、上下流のバランスをとったことだが、上流域に重点を置いているということか。	会場での発言(郡山市)
			上流側で整備されると下流側で洪水が発生しやすくなるとよく言われている。これについて教えていただけないか	会場での発言(岩沼市)
			以前、下流側から整備していくと聞いたが、上流側から堤防整備している。下流側から堤防を作るべきではないのか。	会場での発言(伊達市)
治水- 5	堤防の質的整備について	堤防の質について、これから点検を実施して、弱いところは改善することだったが、実際に弱いところは地元公表するのか	堤防の質について、これから点検し、弱いところは改善することだったが、点検を実施して、実際に弱いところは地元公表するのか	会場での発言(郡山市)
			堤防の強化は全ての堤防で実施するのか、私の住んでいる枝野地区も対象となるのか、教えていただきたい	会場での発言(角田市)
治水- 7	地域特性に応じた治水対策について	新聞記事で、全ての堤防を築くことはできないので、田畑では堤防の整備をせず、安全に差をつけるという記事を読んだが、整備計画の中ではどうなっているのか	新聞記事で、全ての堤防を築くことはできないので、田畑では堤防の整備をしないで、安全に差をつけるという記事を読んだが、実施計画の中ではどうなっているのか。	会場での発言(郡山市)
			狭窄部等の解消策を早く行うべきではないか。	会場での発言(伊達市)

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

I 河川整備計画に関する意見		質問要旨	質問内容	意見提出方法
治水- 8	内水対策について	内水排水設備の充実強化を計画的に実施すべきではないか	排水機場で、内水による床下浸水、道路のかん水が起きているのに、“川”の水位が“基準値”に達していないという理由で、排水ポンプを稼働しなかった。誰のための排水機場なのか。	会場での発言(伊達市)
			内水の被害が多いのですが、内水計画と本計画の整合はとっているのですか？	会場での発言(郡山市)
治水- 10	遊水地の整備について	今後浜尾遊水地の3倍の貯水量の遊水地が計画されているようですが、1箇所にはできるのでしょうか、また、数カ所にはできるのでしょうか	内水排水設備の充実強化を計画的に実施すべきではないか。	会場での発言(伊達市)
			6.1年、1.0年、1.4年で、上流の整備が進み、上昇の速度が非常に速い。1.6年の2月に役場で、現在の工事についての説明があった。阿武隈川が増水したときには、鯉川に逆流してしまう。そのたびに水門を閉じると、雨が降っているときは鯉川の水位が5m以上上がり、阿武隈川に流れていく。雨がやんで阿武隈川の水位が上昇すると、逆に入ってくる。ただ、これは天候次第。排水ポンプをつけないといったときの説明だと、排水ポンプ車に対応することだったので、内水の危険ランクを調べて、内水よりも、阿武隈川の逆流をストップして内水による影響の程度を調べてほしい。	会場での発言(二本松市)
			大洪水になると農林サイドの排水機場をストップさせられたという話を聞いた。周りの住宅地を守るために機場をストップすることもありうると自分では理解しているが、この点についてお願いしたい。	会場での発言(角田市)
			堤防工事をするので、阿武隈川からの抑えられるとのことだが、内水による被害はどうなるのか。また、内水を起こさないように阿武隈川に流した場合、今のままであればどうなるのか。	会場での発言(福島市)
			ポンプについては、ポンプ車の配置については、前回同様変わりがないのか。	会場での発言(二本松市)
③ 河川水の適正な利用および流水の正常な機能の維持				
利水- 1	水質の保全・改善に関する目標について	阿武隈川に清流を取り戻すことを目標に取り入れてはどうか。具体的な整備の計画を策定する等が、基本方針と同程度の内容では、今後の水質改善に対する取り組みが全く分かりませんし、本気で取り組んでいこうという姿勢が全く感じられません。具体的な数値目標や指標等によるわかりやすい目標を明記して頂きたい	阿武隈川を拠点として活動をしていると、他の河川を主に活動されている方々からは「よくもあんな川で・・・」といった声を少なからず耳にしますし、宮城県南部の地域(特に岩沼市・亶理町)にとっては「県外から流れてくる単なる放水路」との認識の人々も珍しくないようです。日頃汚いと感じているものに対して「関心を持って行政と一緒に川づくりをしましょう」と言われても受け入れ難いのが人情ではないでしょうか。そこで提案したいのが、阿武隈川に清流を取り戻すことを目標に取り入れることです。今回提示された素案に目を通し大いに疑問に感じた点があります。素案の4.2整備の目標(3)「水質の保全・改善」3行の文言は、平成16年1月発表の河川整備基本方針の1.河川の総合的な保全と利用に関する基本方針(2)ウにある河川環境の整備と保全に掲載されている「水質については・・・改善に努める。」とどう違うのでしょうか。具体的な整備の計画を策定する等が、基本方針と同程度の内容では、今後の水質改善に対する取り組みが全く分かりませんし、本気で取り組んでいこうという姿勢が全く感じられません。	インターネット
			阿武隈川で遊びたい気持ちがあるが、自分の近くの所を見ても、直接遊べる所がない。阿武隈川は汚い、BODが高い、リン・窒素が高く、人が入れない川になっているので、環境についてどのように考えているのか。	会場での発言(福島市)
利水- 2	水質改善に向けた流域での取り組みについて	水質水準、BOD負荷を軽減するために、下水道施設を充実させる必要がある	阿武隈川の水質があまりよくないというお話だったが、河川整備の中で水質が良くなることはあるのか。水質改善への取り組みはあるのか。	会場での発言(郡山市)
④ 河川環境の整備と保全				
環境- 2	河川とのふれあいの場の整備について	人と川とのふれあいの場所・水辺の楽校等を増やしていく予定はあるのか	人と川とのふれあいの場の整備について58ページに載っているが、これからますます場所は増やしていく予定か。水辺の楽校等増やしていく予定はあるのか。	会場での発言(福島市)
⑤ 維持・管理				
管理- 1	河道管理(樹木伐採、堆積土砂撤去)について	平成の大改修の際は、あえて外側に堤防を作り河畔林を保全すると聞いていたが、いつから考え方が変わったのか	河川の中の樹木伐採の件について、平成の大改修の際は、あえて外側に堤防を作り河畔林を保全すると聞いていたが、いつから国交省は考え方が変わったのか。	会場での発言(二本松市)
			樹木の伐採はどのような基準で行われるのか	河川敷の樹木が大きくなってくると、自然環境団体から伐採しないでほしいという意見があがってくる。樹木の伐採はどのような基準で行われるのか。

※ 青字は素案(公表版)に関連する内容の記述がある項目

II その他の意見		質問要旨	質問内容	意見提出方法
② 直轄管理区間外の整備等について				
その他- 3	福島県管理区間の整備について	生活する住民の生命と安全と安定した生活環境のためにも、国交省が、県管理である場所は県に強く指導し、住民の安定した生活を確保すべき。ぜひ住民のことを思って、真剣に対応するような回答が聞きたい	上流部(県管理)も国で整備ができないか 河川の堆積物が中洲のような状況になって、曲がりくねった河川の中で、大水が出るとどうしても流速が鈍ってしまうと同時に、堤防がない所または低い所は当然氾濫してしまう状況の繰り返しで、何ら対策が示されない。 30年と言うが、30年間その被害に耐えているということか。30年間で河川整備が完了するまでに、応急的な処置とか部分的な対処はあつてしかるべき。 河川の堆積した土砂を除去すれば、氾濫する機会も減少する。 生活する住民の生命と安全と安定した生活環境のためにも、国交省が、県管理である場所は県に強く指導し、住民の安定した生活を確保すべき。浜尾遊水地の拡張に伴った乙字ヶ滝の固定堰の改修は国管理なので、ぜひ住民のことを思って、真剣に対応するような回答が聞きたい。	はがき 会場での発言(須賀川市)
その他- 6	支川阿由里川の整備について	平成の大改修計画に取り入れられなかった流域及び本計画に上げられない区域での氾濫常襲流域への対応は如何に(乙字滝上流 三城目玉城橋附近)	平成の大改修計画に取り入れられなかった流域及び本計画に上げられない区域での氾濫常襲流域への対応は如何に(乙字滝上流 三城目玉城橋附近)	会場での発言(須賀川市)
その他- 8	支川古川における遊水地の整備状況について	古川下流の遊水地の計画についてC2池の50万トンの建設はいつ頃着手するのか	浜尾遊水地について、230万トンに拡大し、さらに900万トンの遊水地を新たに整備するということが、古川下流の遊水地のことだが、C1池とA池がほぼ50万トンかと思っているが、計画にあるC2池の50万トンの建設はいつ頃着手するのか。	会場での発言(伊達市)
その他- 10	支川産ヶ沢川のヨシについて	産ヶ沢川はあばれ川であり、最近ヨシが中洲に生い茂り、洪水になった場合増水して危険だと思うが、ヨシは川の水を浄化するのに必要なのでどうしたらいいのか。	阿武隈川に直接流れる、産ヶ沢川は柔折から流れる川だが、暴れ川で、常に大洪水に襲われる。中洲にヨシが生い茂っているため、洪水になった場合、増水して危険ではないか。しかし、ヨシは川の水を浄化するのに必要なので、どうしたらいいのか。	会場での発言(福島市)
その他- 11	支川くるみ川の護岸について	有名な観光地になっている花見山のふもとを流れるくるみ川がコンクリートで固められ観光客が残念がつているが、改善はされるのか	花見山は有名な観光地になっているが、ふもとを流れるくるみ川がコンクリートで固められており、観光客が残念がつている。改善はされるのか。	会場での発言(福島市)
③ 国土交通行政へのご意見・ご質問について				
その他- 13	堤外民地の買収について	阿武隈川の堤防の間に挟まれた農地は、なぜ国で買ってもらえないのか	阿武隈川の堤防の間に挟まれた農地は、なぜ国で買ってもらえないのか。その土地は、国の災害補償は受けられない。堤防の下は売れるが堤防から離れたところは売れなくなるような計画の進め方はほしくない。	会場での発言(二本松市)
その他- 14	無堤地区の農地について	上流の方が整備されるほど下流に負担が生じるが、無堤地区の農地はどうするのか	14年8月28日にこの会場で、堤防の件についての話し合いがあった。私たちは連続堤防でお願いしたいと言っていた。農地は買わないという判断はおかしいと思う。法の下での平等とは何なのか。家を動かさないという説明だったのに、洪水被害がある地域はたくさん動かして、田畑はせっかく作っても流されるのに買収しないというのは法の下での平等なのか。安全・安心に対しても、8・5のときも、中に何が入っているかわからないドラム缶が流れて、そのような中で作物を作って農協に出しても買ってくれない。税金は払わなくてはいけない、作物は売れない、それについての話し合いもなく、説明は終わりというのは納得できない。 無堤地区で堤防がない。7・8軒はかさ上げ・移転で退去されると思う。ただ、田畑はそのままである。上流の方が整備されるほど下流に負担が生じる。農地はどうするのか。	会場での発言(二本松市) 会場での発言(伊達市)
④ その他				
その他- 24	その他		県に届けていただいた結果の回答はどのように知ればいいのか。	会場での発言(須賀川市)
			適切に対応するとは、具体的にどのようなことか。今日は時間がなかったのですがこのように言ったのかもしれないが、それぞれの対応について、市民に具体的に発表してほしいのか。	会場での発言(郡山市)

素案(公表版)に対する委員からの意見

項目	意見要旨	対応ページ		
		素案(公表版)	原案	
① 河川整備計画全般				
共通- 4	河川整備計画全般について	十六橋水門は安積疎水の「取水口」で良いか?水位調整施設で「取水口」という表現は適当でないように思われる。そのような表現が通常使われているなら構わないが、確認のこと。	P24	P24
		河口部に代表的な鳥はユリカモメではなくウミネコだと思われる。専門家に確認のこと。	P28	P28
		写真の説明は「堤防の裸地」でなく「堤防の裸地化」ではないか?	P42	P42
		阿武隈川の水質の状況について、上下流、本支川でどのような傾向にあるのか平面図で表現した方がわかりやすい。	-	P54
		最後が尻きれトンボみたいになっている印象があったので、あとがきとして決意表明のようなところを最後に書いていただくのがよいという印象を受けた。	-	P124
② 洪水、高潮等による災害の発生の防止または軽減				
治水- 1	河川整備の目標について	治水の目標については、全体的に漠然とした表現となっているため、整備による効果をわかりやすく示すなど工夫した方がよい(上下流バランスが整備前後で比較しどう改善されるか示す等)	-	P73

素案(公表版)に対する事務局修正点

項 目		修正事項	対応ページ	
			素案(公表版)	原案
① 河川整備計画全般				
		素案→原案	表紙	表紙
		平成18年10月→平成19年1月		
		附図を追加 ページ追加に伴いページ番号を更新	目次	目次
		本宮町・白沢村合併(本宮市)に伴い、流域図等に「本宮市」を追加	全体	全体
		文章の修正 『治水、利水、環境に関わる施策を総合的に展開します。』 →『治水、利水、環境の調和を図りながら河川整備に関わる施策を総合的に展開します。』	P2	P2
		文章の修正 『本計画の対象期間は、概ね30年間とします。』 →『 本整備計画は、阿武隈川水系河川整備基本方針に基づいた河川整備の当面の目標であり、その対象期間は概ね30年間とします。 』	P4	P4
		本宮町・白沢村合併(本宮市)により、市町村数を修正	P5	P5
		本宮町・白沢村合併(本宮市)により、市町村数を修正 平成18年3月現在は市町村合併により24市町村 → 平成19年1月現在は市町村合併により23市町村	P33	P33
		ページ下の写真を平成14年洪水時の内水被害写真に変更	P41	P41
		文章の修正 『堤防整備等のハード面の対策を計画的に実施することはもとより、内水被害や整備の途中段階においても計画規模以上の洪水の発生など、これら超過洪水への対応も見据えた上で、・・・』 →『 堤防整備等のハード面の対策を計画的に実施することはもとより、堤防などの施設の能力を上回る超過洪水に対する対応や、内水被害への対応も見据えた上で、・・・ 』	P34	P34
		伊達郡伊達町字川原町→ 伊達市川原町	P72 P90	P74 P92
		河道掘削箇所地区名を修正 『金山地区』→『 館矢間地区 』	P83 P84	P85 P86
		写真の変更(景観に配慮した護岸整備例)	P94	P96
		水文観測所の数をH18の最新のものに更新	P104	P106
素案のP118とP119を1ページにまとめて簡略化した。	P118 P119	P120		
素案→原案 ページ追加に伴いページ番号を修正	P124	P125		
② 洪水、高潮等による災害の発生の防止または軽減				
治水-1	河川整備の目標について	河川整備効果②として、上下流の治水安全度場欄の解消に関するコトを追加 『将来目標とする計画高水流量に対する流下能力の達成率はいまだ十分なものではありませんが、阿武隈川では『平成の大改修』などを代表とした様々な治水対策が行われ着実に治水安全度は向上しています。現在の流下能力達成率を河口から上流まで全体を比較した場合、須賀川、郡山市などの市街地を抱えている上流部が下流部と比較して相対的に達成率が低くなっているなど、上流と下流で流下能力達成率にアンバランスが生じています。また、狭窄部などの住家がまばらな地域では流下能力達成率が極端に低いことも大きな課題です。河川整備計画では、流下能力が極端に低い地域で早期に整備効果を発揮する治水対策を実施し、さらに上下流のバランスを配慮した整備を実施することで、戦後最大洪水である昭和61年8月洪水と同規模の洪水に対して浸水被害を防止・軽減するとともに、将来目標とする計画高水流量に対する達成度のアンバランスを軽減します。』	-	P73
		浸水想定図の作成条件を平易な文章に変更 『阿武隈川の整備状況やダムなどの洪水調節効果は現時点の状況を想定し、戦後最大規模の降雨と同規模の大雨が降った場合の浸水状況をシミュレーションにより想定しています。シミュレーションは阿武隈川の水位が危険水位※1に達した時に堤防が決壊すると仮定して行い、支川のはん濫や内水によるはん濫は考慮していません。』	P35 P71	P35 P72

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

阿武隈川水系河川整備計画【素案】

[大臣管理区間]

平成18年10月

国土交通省東北地方整備局

阿武隈川水系河川整備計画【原案】

[大臣管理区間]

平成19年1月

国土交通省東北地方整備局

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

阿武隈川水系 河川整備計画素案 (大臣管理区間)

目次

1. 計画の基本的考え方	1
1.1 計画の主旨	1
1.2 河川整備の基本理念	1
1.3 計画の対象区間	3
1.4 計画の対象期間	4
2. 阿武隈川の概要	5
2.1 流域及び河川の概要	5
2.2 洪水と渇水の歴史	11
2.3 自然環境	26
2.4 歴史・文化	29
2.5 河川利用	30
2.6 地域との連携	33
3. 阿武隈川の現状と課題	34
3.1 治水に関する事項	34
3.2 利水に関する事項	51
3.3 自然環境に関する事項	61
3.4 河川の利用に関する事項	65
3.5 地域との連携に関する事項	67
4. 河川整備の目標に関する事項	69
4.1 洪水・高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する目標	69
4.2 河川の適正な利用および流水の正常な機能の維持に関する目標	72
4.3 河川環境の整備と保全に関する目標	73
4.4 河川の維持管理に関する目標	74
5. 河川整備の実施に関する事項	75
5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能概要	75
5.2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所	102
5.3 その他河川整備を総合的に行うために必要な事項	121
<参考> 阿武隈川水系河川整備計画素案【大臣管理区間】の構成	124

阿武隈川水系 河川整備計画原案 (大臣管理区間)

目次

1. 計画の基本的考え方	1
1.1 計画の主旨	1
1.2 河川整備の基本理念	1
1.3 計画の対象区間	3
1.4 計画の対象期間	4
2. 阿武隈川の概要	5
2.1 流域及び河川の概要	5
2.2 洪水と渇水の歴史	11
2.3 自然環境	26
2.4 歴史・文化	29
2.5 河川利用	30
2.6 地域との連携	33
3. 阿武隈川の現状と課題	34
3.1 治水に関する事項	34
3.2 利水に関する事項	51
3.3 自然環境に関する事項	62
3.4 河川の利用に関する事項	66
3.5 地域との連携に関する事項	68
4. 河川整備の目標に関する事項	70
4.1 洪水・高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する目標	70
4.2 河川の適正な利用および流水の正常な機能の維持に関する目標	74
4.3 河川環境の整備と保全に関する目標	75
4.4 河川の維持管理に関する目標	76
5. 河川整備の実施に関する事項	77
5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能概要	77
5.2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所	104
5.3 その他河川整備を総合的に行うために必要な事項	122
6. 結語	124
<参考> 阿武隈川水系河川整備計画原案【大臣管理区間】の構成	125
附 図	126

ページの追加

結語の追加

附図の作成

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)	阿武隈川河川整備計画【原案】
<p style="text-align: center;">1. 計画の基本的考え方</p> <p>さらに、高齢化社会が進み災害時要援護者が増加するなど、阿武隈川を取り巻く社会的状況の変化を踏まえた避難警戒体制や地域の共助体制の確立が必要です。</p> <p>一方、河川環境面では、深い渓谷を呈する狭窄部を断続的に有するなど、自然の地形が造り出した景勝地が数多く存在する他、多種多様な生物が確認されるなど豊かな生態系を育んでいます。これら、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、流域が一体となって保全に取り組む必要があります。</p> <p>このため、流域の自然的、社会的状況を踏まえ、河川環境の整備と保全が適切に行われるよう、河川環境管理の目標を定め、また、その管理内容を具体化し、充実していく必要があります。</p> <p>さらに、阿武隈川の豊かな自然環境、歴史、文化、風土を背景として、流域内の様々な人・団体が阿武隈川において多様な活動を展開しています。このため、人と河川とのかかわり、ふれあいの場を適切に整備・保全していくことや、河川愛護団体等流域の様々な団体間のパートナーシップを構築することなど、阿武隈川を軸とした参加と連携による地域づくりの推進が求められています。</p> <p>これらの阿武隈川をとりまく現状を踏まえ、河川整備基本方針に基づき、地域の個性と活力、歴史や文化が実感できる川づくりを目指すため、以下の3点を基本理念に関係機関や地域住民との情報の共有、連携の強化を図りつつ、治水、利水、環境に関わる施策を総合的に展開します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○安全で安心が持続できる阿武隈川の実現</p> <p>河川整備基本方針で定めた目標に向け、必要な各種治水対策を総合的に展開し、上下流の治水安全度のバランスを考慮しつつ段階的な整備を進め、洪水、内水被害、高潮、地震等さまざまな災害から沿川地域住民の生命と財産を守るとともに、洪水に対する備えを充実させ、人々が安心して暮らせる安全な阿武隈川の実現を目指します。</p> <p>また、地域の安全と安心が持続できるよう、流域の自然的、社会的特性を踏まえた継続的・効率的な河川の維持管理に努めます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○豊かで多様な自然環境の次世代への継承</p> <p>阿武隈川の自然豊かな環境と河川景観を次の世代へ引き継ぐため、連携と協働のもと流域一体となった河川環境の保全、再生、創出を目指します。</p> <p>また、河川環境の整備と保全が適正に実施されるよう、河川環境の適正な管理に努めます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○阿武隈川を軸とした人・自然・社会の調和と活力ある地域の創造</p> <p>地域の自然環境・社会環境と調和した人と川とのふれあいの場を整備・保全することにより、阿武隈川を軸とした地域間交流や参加・連携を積極的に促し、人と河川との良好な関係の構築に根差した活力ある地域の創造を目指します。</p> </div> <p style="text-align: center;">2</p>	<p style="text-align: center;">1. 計画の基本的考え方</p> <p>さらに、高齢化社会が進み災害時要援護者が増加するなど、阿武隈川を取り巻く社会的状況の変化を踏まえた避難警戒体制や地域の共助体制の確立が必要です。</p> <p>一方、河川環境面では、深い渓谷を呈する狭窄部を断続的に有するなど、自然の地形が造り出した景勝地が数多く存在する他、多種多様な生物が確認されるなど豊かな生態系を育んでいます。これら、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、流域が一体となって保全に取り組む必要があります。</p> <p>このため、流域の自然的、社会的状況を踏まえ、河川環境の整備と保全が適切に行われるよう、河川環境管理の目標を定め、また、その管理内容を具体化し、充実していく必要があります。</p> <p>さらに、阿武隈川の豊かな自然環境、歴史、文化、風土を背景として、流域内の様々な人・団体が阿武隈川において多様な活動を展開しています。このため、人と河川とのかかわり、ふれあいの場を適切に整備・保全していくことや、河川愛護団体等流域の様々な団体間のパートナーシップを構築することなど、阿武隈川を軸とした参加と連携による地域づくりの推進が求められています。</p> <p>これらの阿武隈川をとりまく現状を踏まえ、河川整備基本方針に基づき、地域の個性と活力、歴史や文化が実感できる川づくりを目指すため、以下の3点を基本理念に関係機関や地域住民との情報の共有、連携の強化を図りつつ、治水、利水、環境の調和を図りながら河川整備に関わる施策を総合的に展開します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○安全で安心が持続できる阿武隈川の実現</p> <p>河川整備基本方針で定めた目標に向け、必要な各種治水対策を総合的に展開し、上下流の治水安全度のバランスを考慮しつつ段階的な整備を進め、洪水、内水被害、高潮、地震等さまざまな災害から沿川地域住民の生命と財産を守るとともに、洪水に対する備えを充実させ、人々が安心して暮らせる安全な阿武隈川の実現を目指します。</p> <p>また、地域の安全と安心が持続できるよう、流域の自然的、社会的特性を踏まえた継続的・効率的な河川の維持管理に努めます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○豊かで多様な自然環境の次世代への継承</p> <p>阿武隈川の自然豊かな環境と河川景観を次の世代へ引き継ぐため、連携と協働のもと流域一体となった河川環境の保全、再生、創出を目指します。</p> <p>また、河川環境の整備と保全が適正に実施されるよう、河川環境の適正な管理に努めます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○阿武隈川を軸とした人・自然・社会の調和と活力ある地域の創造</p> <p>地域の自然環境・社会環境と調和した人と川とのふれあいの場を整備・保全することにより、阿武隈川を軸とした地域間交流や参加・連携を積極的に促し、人と河川との良好な関係の構築に根差した活力ある地域の創造を目指します。</p> </div> <p style="text-align: center;">2</p>

文章表現の修正

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

1. 計画の基本的考え方

表1-1 管理区間延長

河川名	区間		延長 (km)	
	上流端	下流端		
阿武隈川	福島県川俣町大字新田(河川敷)1地区の国道橋	河口	183,000	
釈迦堂川	福島県川俣町大字新田(河川敷)1地区の国道橋	新武原川への合流点	1,700	
笹原川	茨城県中嶋町大字新田(河川敷)1地区 茨城県中嶋町大字新田(河川敷)2地区	新武原川への合流点	1,410	
三善ダム	大滝郷川	福島県村田町大字新田(河川敷)1地区の河川敷下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の河川敷下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	8,060
	蛇河川	福島県村田町大字新田(河川敷)1地区の河川敷下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	大滝郷川への合流点	2,250
	牛堀川	福島県村田町大字新田(河川敷)1地区の河川敷下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	大滝郷川への合流点	2,350
	蛇石川	茨城県中嶋町大字新田(河川敷)1地区 福島県村田町大字新田(河川敷)1地区	大滝郷川への合流点	3,850
	横渡川	福島県村田町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	蛇石川への合流点	8,700
荒川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	新武原川への合流点	13,000	
松川	福島県川俣町大字新田(河川敷)1地区の国道橋	新武原川への合流点	8,700	
楢上川	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区の国道橋	新武原川への合流点	8,800	
楢上川ダム	楢上川	中ノ沢の合流点	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区の国道橋上流端	10,800
	白根沢	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	2,720
	大深谷沢	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	1,900
	鳥川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	4,300
	針堂沢	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	2,380
	中津川	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	1,700
	中ノ沢	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	8,140
稲子沢	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	8,490	
広瀬川	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	新武原川への合流点	2,130	
白石川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	新武原川への合流点	1,000	
七ヶ宿ダム	白石川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	9,780
	小梁川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	白石川への合流点	2,000
	大梁川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	白石川への合流点	2,425
	鳥川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	白石川への合流点	1,550
	横川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	白石川への合流点	8,330
合 計			238,265	

1.4 計画の対象期間

本計画の対象期間は、概ね30年間とします。

なお、本計画は現時点の流域における社会経済状況、自然環境の状況、河道状況等を前提として策定したものであり、策定後のこれらの状況変化や新たな知見、技術の進捗等により、必要に応じて適宜見直しを行います。

1. 計画の基本的考え方

表1-1 管理区間延長

河川名	区間		延長 (km)	
	上流端	下流端		
阿武隈川	福島県川俣町大字新田(河川敷)1地区の国道橋	河口	183,000	
釈迦堂川	福島県川俣町大字新田(河川敷)1地区の国道橋	新武原川への合流点	1,700	
笹原川	茨城県中嶋町大字新田(河川敷)1地区 茨城県中嶋町大字新田(河川敷)2地区	新武原川への合流点	1,410	
三善ダム	大滝郷川	福島県村田町大字新田(河川敷)1地区の河川敷下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の河川敷下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	8,060
	蛇河川	福島県村田町大字新田(河川敷)1地区の河川敷下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	大滝郷川への合流点	2,250
	牛堀川	福島県村田町大字新田(河川敷)1地区の河川敷下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	大滝郷川への合流点	2,350
	蛇石川	茨城県中嶋町大字新田(河川敷)1地区 福島県村田町大字新田(河川敷)1地区	大滝郷川への合流点	3,850
	横渡川	福島県村田町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	蛇石川への合流点	8,700
荒川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	新武原川への合流点	13,000	
松川	福島県川俣町大字新田(河川敷)1地区の国道橋	新武原川への合流点	8,700	
楢上川	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区の国道橋	新武原川への合流点	8,800	
楢上川ダム	楢上川	中ノ沢の合流点	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区の国道橋上流端	10,800
	白根沢	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	2,720
	大深谷沢	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	1,900
	鳥川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	4,300
	針堂沢	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	2,380
	中津川	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	1,700
	中ノ沢	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	8,140
稲子沢	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区の上流端より下流端	楢上川への合流点	8,490	
広瀬川	福島県伊達郡伊達町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	新武原川への合流点	2,130	
白石川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	新武原川への合流点	1,000	
七ヶ宿ダム	白石川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	9,780
	小梁川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	白石川への合流点	2,000
	大梁川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	白石川への合流点	2,425
	鳥川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	白石川への合流点	1,550
	横川	茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区 茨城県川俣町大字新田(河川敷)1地区	白石川への合流点	8,330
合 計			238,265	

1.4 計画の対象期間

本整備計画は、阿武隈川水系河川整備基本方針に基づいた河川整備の当面の目標であり、その対象期間は概ね30年間とします。

なお、本計画は現時点の流域における社会経済状況、自然環境の状況、河道状況等を前提として策定したものであり、策定後のこれらの状況変化や新たな知見、技術の進捗等により、必要に応じて適宜見直しを行います。

文章表現の修正

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

2. 阿武隈川の概要～流域及び河川の概要～

2. 阿武隈川の概要～流域及び河川の概要～

2. 阿武隈川の概要

2. 阿武隈川の概要

2.1 流域及び河川の概要

2.1 流域及び河川の概要

2.1.1 流域の概要

2.1.1 流域の概要

阿武隈川は、その源を福島県西白河郡西郷村大字鶴生の旭岳(標高1,835m)に発し、大滝根川、荒川、楮上川等の支川を合わせて、福島県中通り地方を北流し、阿武隈渓谷の狭窄部を経て宮城県に入り、さらに白石川等の支川を合わせて太平洋に注ぐ、幹川流路延長239km、流域面積5,400km²の一級河川です。

阿武隈川は、その源を福島県西白河郡西郷村大字鶴生の旭岳(標高1,835m)に発し、大滝根川、荒川、楮上川等の支川を合わせて、福島県中通り地方を北流し、阿武隈渓谷の狭窄部を経て宮城県に入り、さらに白石川等の支川を合わせて太平洋に注ぐ、幹川流路延長239km、流域面積5,400km²の一級河川です。

その流域は、福島、宮城、山形の3県にまたがり福島県主要都市である郡山市や福島市、宮城県南部の岩沼市等の都市が上流から下流まで縦断的に存在します。

その流域は、福島、宮城、山形の3県にまたがり福島県主要都市である郡山市や福島市、宮城県南部の岩沼市等の都市が上流から下流まで縦断的に存在します。

阿武隈川流域はこれらの地域における社会・経済・文化の基盤を成すとともに、自然環境・河川景観に優れていることから、本水系の治水・利水・環境についての意義は、きわめて大きいといえます。

阿武隈川流域はこれらの地域における社会・経済・文化の基盤を成すとともに、自然環境・河川景観に優れていることから、本水系の治水・利水・環境についての意義は、きわめて大きいといえます。



本宮町・白沢村合併に伴う市町村数の修正

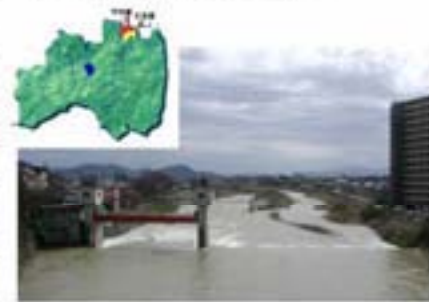
2. 阿武隈川の概要～洪水と治水の歴史～

2. 阿武隈川の概要～洪水と治水の歴史～

2.2.4 利水事業の沿革

阿武隈川流域の水利用は、農耕が一般化したおおよそ6～7世紀頃から続いていると推定されています。当時の灌漑は天水・沢水を利用したもので、これら川沿いの田畑耕地への本川からの利水はほんの一部であり、河水取り入れの技術を持つまでには至らなかったと考えられます。そのため、洪水が頻繁に起きる信達地方では、水害に強い桑の栽培が盛んとなり、後の養蚕業の発展に結びつきました。

江戸時代に入り、開墾事業が盛んに進められる中で、支川摺上川から取水する伊達西根堰、支川広瀬川から取水する砂子堰が整備され、福島市周辺には米所福島の礎が築かれました。現在、砂子堰からの取水は昭和12年に完成した信夫ダムから取水する東根堰に移りましたが、伊達西根堰は当時と変わらぬまま飯坂温泉付近で摺上川から取水を続けています。



現在の伊達西根堰(福島市飯坂温泉付近)



図2-15 安積碓氷による導水状況

これに対して郡山市を中心とした上流域では、明治時代に入るまで水不足に悩まされていました。この状況を考慮し、明治政府は農業用水不足に悩む安積平野に、阿賀野川流域である猪苗代湖から導水する計画を立案しました。

この導水事業は『安積碓氷』と称され、オランダ人技師ファン・ドールンの設計監修により行なわれました。現在は、大正時代末期から始まった土地改良組合による耕地整理も進み、豊かな水田地帯が広がっています。

その後、安積碓氷は水道・発電・工業用水など多目的に利用され、郡山地方の殖産興業に貢献し、現在、郡山市は内陸型工業都市として発展を続けています。

また、近隣の白河矢吹地域においても阿賀野川流域の羽鳥ダムからかんがい用水を導水するなど、安積碓氷以外にも他水系からの導水は行われています。

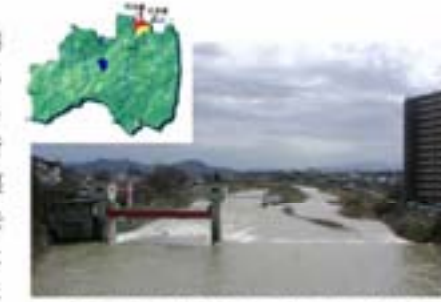


安積碓氷の取水口(十六橋水門)

2.2.4 利水事業の沿革

阿武隈川流域の水利用は、農耕が一般化したおおよそ6～7世紀頃から続いていると推定されています。当時の灌漑は天水・沢水を利用したもので、これら川沿いの田畑耕地への本川からの利水はほんの一部であり、河水取り入れの技術を持つまでには至らなかったと考えられます。そのため、洪水が頻繁に起きる信達地方では、水害に強い桑の栽培が盛んとなり、後の養蚕業の発展に結びつきました。

江戸時代に入り、開墾事業が盛んに進められる中で、支川摺上川から取水する伊達西根堰、支川広瀬川から取水する砂子堰が整備され、福島市周辺には米所福島の礎が築かれました。現在、砂子堰からの取水は昭和12年に完成した信夫ダムから取水する東根堰に移りましたが、伊達西根堰は当時と変わらぬまま飯坂温泉付近で摺上川から取水を続けています。



現在の伊達西根堰(福島市飯坂温泉付近)



図2-15 安積碓氷による導水状況

これに対して郡山市を中心とした上流域では、明治時代に入るまで水不足に悩まされていました。この状況を考慮し、明治政府は農業用水不足に悩む安積平野に、阿賀野川流域である猪苗代湖から導水する計画を立案しました。

この導水事業は『安積碓氷』と称され、オランダ人技師ファン・ドールンの設計監修により行なわれました。現在は、大正時代末期から始まった土地改良組合による耕地整理も進み、豊かな水田地帯が広がっています。

その後、安積碓氷は水道・発電・工業用水など多目的に利用され、郡山地方の殖産興業に貢献し、現在、郡山市は内陸型工業都市として発展を続けています。

また、近隣の白河矢吹地域においても阿賀野川流域の羽鳥ダムからかんがい用水を導水するなど、安積碓氷以外にも他水系からの導水は行われています。



猪苗代湖水面水位調節施設 十六橋水門(明治13年)
※小石ヶ水門の完成により、現在は洪水時のみ開扉

委員の指摘による修正
意見内容：十六橋水門は水位調整施設で取水口という表現は適当でない

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

2. 阿武隈川の概要～自然環境～

■下流域 (河口より0.0km～27.0km)

仙台平野の南部を流れる下流域は、周辺に角田市や岩沼市街地が形成され、河床勾配が緩く川幅も広く、雄大な流れをみせる区間です。水際にはミクリやタコノアシ、広い高水敷にはオギやヨシ等の群落形成され、オオヨシキリやセッカ等の生息場となっており、砂礫河床となっている早瀬は天然アユやサケの産卵場となっています。



雄大な流れをみせる下流域(宮城県角田市)

■河口部

河口部の砂地にはコウボウムギ等の植物群落が見られるほか、ユリカモメ等の集団時やシギ・チドリ類の休息地となっています。

藩政時代には安定した物資の輸送路確保として、仙台藩初代藩主伊達政宗の命により家臣川村孫兵衛重吉が名取川河口から阿武隈川までの海岸線と平行に木曳堀を開削しました。その後も北上川まで運河が延伸され、日本一長い真山運河として現在も舟運全盛時代の面影を残しています。

■木曳堀(きびきぼり)
日本一長い真山運河として現在も舟運全盛時代の面影を残している



阿武隈川河口(宮城県亶理町)

2. 阿武隈川の概要～自然環境～

■下流域 (河口より0.0km～27.0km)

仙台平野の南部を流れる下流域は、周辺に角田市や岩沼市街地が形成され、河床勾配が緩く川幅も広く、雄大な流れをみせる区間です。水際にはミクリやタコノアシ、広い高水敷にはオギやヨシ等の群落形成され、オオヨシキリやセッカ等の生息場となっており、砂礫河床となっている早瀬は天然アユやサケの産卵場となっています。



雄大な流れをみせる下流域(宮城県角田市)

委員の指摘による修正
意見内容：河口部に代表的な鳥はユリカモメではなくウミネコだと思われる

■河口部

河口部の砂地にはコウボウムギ等の植物群落が見られるほか、カモメ類の集団時やシギ・チドリ類の休息地となっています。

藩政時代には安定した物資の輸送路確保として、仙台藩初代藩主伊達政宗の命により家臣川村孫兵衛重吉が名取川河口から阿武隈川までの海岸線と平行に木曳堀を開削しました。その後も北上川まで運河が延伸され、日本一長い真山運河として現在も舟運全盛時代の面影を残しています。

■木曳堀(きびきぼり)
日本一長い真山運河として現在も舟運全盛時代の面影を残している



阿武隈川河口(宮城県亶理町)

2. 阿武隈川の概要～地域との連携～

2.6 地域との連携

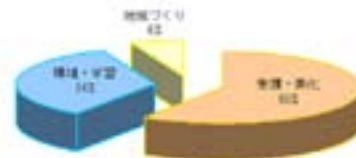
阿武隈川に関連する活動団体は、大小様々ではありますが、合計で96団体(平成18年7月時点)に及び、その活動内容も多岐に渡っています。特に活動内容に河川清掃や環境美化を含んだ団体が60%を占めるなど、流域住民の河川環境に対する関心が高まっている傾向にあることが伺えます。

阿武隈川における地域連携の代表的なものとしては「阿武隈川サミット」があります。

福島県・宮城県内の阿武隈川本川沿いの当時29市町村(平成18年3月現在は市町村合併により24市町村)が一堂に会し、それぞれの流域での役割を担いながら、次世代に共通の遺産として良好な河川環境を伝えていくことを目的に結成されました。

阿武隈川サミットの活動は、阿武隈川で問題とされている水質の浄化対策から、河口清掃、水源地での植樹、小学生を対象としたリバーズスクールなど多岐にわたり、阿武隈川と地域との連携において重要な役割を行っています。

さらに近年、各ダムで水源地域ビジョンを作成しており、関係者により地域活性化を進めています。



活動内容	団体数
環境・美化	57団体
環境・学習	30団体
地域づくり	9団体
合計	96団体

図2-18 阿武隈川に関連した活動団体数

表2-5 阿武隈川サミット参加市町村

参加市町村	参加市町村名				
	西郷町	白河市	東郷町	中島村	石川町
福島県(19市町村)	玉川町	新井町	楳原町	楳原川町	郡山市
宮城県(5市町村)	伊達市	伊達市	伊達市	伊達市	伊達市



阿武隈川サミットの開催状況

■上下流が一体となった河口清掃
河口の住民を流域全体で動員し、河川浄化対策を盛り上げることや、流域自治体間の交流を深めることを目的に実施されているイベント。
「阿武隈川サミット」が中心となり実施されている。



上下流一体となった河口清掃の様子

■荒川クリーンアップ大作戦
「ふるさとの川・荒川づくり協議会」が中心となり、平成18年6月に実施されたイベント。
「子供たちが安心して遊べる川」を目標し、協議会が呼びかけた協力団体14団体、総勢約300名と個人ボランティアの方々と共に河川清掃を実施。



荒川クリーンアップ作戦の様子

2. 阿武隈川の概要～地域との連携～

2.6 地域との連携

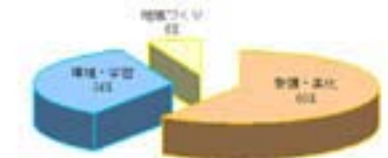
阿武隈川に関連する活動団体は、大小様々ではありますが、合計で96団体(平成18年7月時点)に及び、その活動内容も多岐に渡っています。特に活動内容に河川清掃や環境美化を含んだ団体が60%を占めるなど、流域住民の河川環境に対する関心が高まっている傾向にあることが伺えます。

阿武隈川における地域連携の代表的なものとしては「阿武隈川サミット」があります。

福島県・宮城県内の阿武隈川本川沿いの当時29市町村(平成19年1月現在は市町村合併により23市町村)が一堂に会し、それぞれの流域での役割を担いながら、次世代に共通の遺産として良好な河川環境を伝えていくことを目的に結成されました。

阿武隈川サミットの活動は、阿武隈川で問題とされている水質の浄化対策から、河口清掃、水源地での植樹、小学生を対象としたリバーズスクールなど多岐にわたり、阿武隈川と地域との連携において重要な役割を行っています。

さらに近年、各ダムで水源地域ビジョンを作成しており、関係者により地域活性化を進めています。



活動内容	団体数
環境・美化	57団体
環境・学習	30団体
地域づくり	9団体
合計	96団体

図2-18 阿武隈川に関連した活動団体数

表2-5 阿武隈川サミット参加市町村

参加市町村	参加市町村名				
	西郷町	白河市	東郷町	中島村	石川町
福島県(19市町村)	玉川町	新井町	楳原町	楳原川町	郡山市
宮城県(5市町村)	伊達市	伊達市	伊達市	伊達市	伊達市



阿武隈川サミットの開催状況

■上下流が一体となった河口清掃
河口の住民を流域全体で動員し、河川浄化対策を盛り上げることや、流域自治体間の交流を深めることを目的に実施されているイベント。
「阿武隈川サミット」が中心となり実施されている。



上下流一体となった河口清掃の様子

■荒川クリーンアップ大作戦
「ふるさとの川・荒川づくり協議会」が中心となり、平成18年6月に実施されたイベント。
「子供たちが安心して遊べる川」を目標し、協議会が呼びかけた協力団体14団体、総勢約300名と個人ボランティアの方々と共に河川清掃を実施。



荒川クリーンアップ作戦の様子

本宮町・白沢村合併に伴う市町村数の修正

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)	阿武隈川河川整備計画【原案】
<p style="text-align: center;">3. 阿武隈川の現状と課題～治水に関する事項～</p> <p>3. 阿武隈川の現状と課題</p> <p>3.1 治水に関する事項</p> <p>阿武隈川は大正 8 年より直轄河川改修として治水事業が実施され、国土交通省により管理が行われてきました。その後、昭和 16 年の大洪水や昭和 22,23 年のカスリン、アイオン台風による大洪水などを契機に計画高水流量を改訂し、河川整備を計画的に進めてきましたが、昭和 61 年 8 月洪水、平成 10 年 8 月洪水、平成 14 年 8 月洪水など、近年において大規模な洪水被害が度々発生しています。</p> <p>昭和 61 年 8 月洪水を契機とした「広瀬川激甚災害対策特別緊急事業」、平成 10 年 8 月洪水を契機とした「平成の大改修」、下流域においては、昭和 61 年 8 月洪水及び平成 6 年 9 月洪水を契機とした「五間堀川激甚災害対策特別緊急事業」及び「五間堀川床上浸水対策特別緊急事業」などが実施され、治水安全度の一定の向上が図られました。</p> <p>このように段階的に治水安全度の向上を図ってきましたが、全川を通してみると現在の治水安全度は未だ十分ではなく、流下能力が不足している箇所が多く存在しており、過去に経験した戦後最大洪水である昭和 61 年 8 月洪水と同規模の洪水が発生した場合には、甚大な被害が予想されます。</p> <p>これらの箇所について早期に河川整備を行い、水系全体の治水安全度を高めていく必要があり、また、整備に当たっては上流域・下流域並びに支川流域それぞれが抱える課題や流域の特性を十分に踏まえながら実施していく必要があります。</p> <p>さらに、近年は集中豪雨が頻発し強い雨が短時間に集中する傾向があるため、集中豪雨の影響を受けやすい中小河川において、本川水位が低い場合でも浸水被害が発生しています。このような中小河川や内水被害の頻発箇所においては、排水機場の整備、排水ポンプ車の配備や自治体及び水防組織の自主的な排水活動などの努力により一定の被害軽減は図られていますが、抜本的な対策には至っていません。</p> <p>このため、堤防整備等のハード面の対策を計画的に実施することはもとより、内水被害や整備の途中段階においても計画規模以上の洪水の発生など、これら超過洪水への対応も見据えた上で、ハザードマップの整備普及への支援や避難行動につながる受け手側の立場に立った洪水情報の提供、市町村における防災体制充実にに向けた取り組みの強化など、被害を最小化するためのソフト面からの対策がますます重要となっています。</p> <hr/> <p><small>※流下能力：川が水を流せる能力。(減少すると氾濫の危険が高くなります) ※戦後最大規模の洪水：第二次世界大戦後、阿武隈川で最も氾濫域が広範囲に及んだ洪水。</small></p> <p style="text-align: center;">34</p>	<p style="text-align: center;">3. 阿武隈川の現状と課題～治水に関する事項～</p> <p>3. 阿武隈川の現状と課題</p> <p>3.1 治水に関する事項</p> <p>阿武隈川は大正 8 年より直轄河川改修として治水事業が実施され、国土交通省により管理が行われてきました。その後、昭和 16 年の大洪水や昭和 22,23 年のカスリン、アイオン台風による大洪水などを契機に計画高水流量を改訂し、河川整備を計画的に進めてきましたが、昭和 61 年 8 月洪水、平成 10 年 8 月洪水、平成 14 年 8 月洪水など、近年において大規模な洪水被害が度々発生しています。</p> <p>昭和 61 年 8 月洪水を契機とした「広瀬川激甚災害対策特別緊急事業」、平成 10 年 8 月洪水を契機とした「平成の大改修」、下流域においては、昭和 61 年 8 月洪水及び平成 6 年 9 月洪水を契機とした「五間堀川激甚災害対策特別緊急事業」及び「五間堀川床上浸水対策特別緊急事業」などが実施され、治水安全度の一定の向上が図られました。</p> <p>このように段階的に治水安全度の向上を図ってきましたが、全川を通してみると現在の治水安全度は未だ十分ではなく、流下能力が不足している箇所が多く存在しており、過去に経験した戦後最大洪水である昭和 61 年 8 月洪水と同規模の洪水が発生した場合には、甚大な被害が予想されます。</p> <p>これらの箇所について早期に河川整備を行い、水系全体の治水安全度を高めていく必要があり、また、整備に当たっては上流域・下流域並びに支川流域それぞれが抱える課題や流域の特性を十分に踏まえながら実施していく必要があります。</p> <p>さらに、近年は集中豪雨が頻発し強い雨が短時間に集中する傾向があるため、集中豪雨の影響を受けやすい中小河川において、本川水位が低い場合でも浸水被害が発生しています。このような中小河川や内水被害の頻発箇所においては、排水機場の整備、排水ポンプ車の配備や自治体及び水防組織の自主的な排水活動などの努力により一定の被害軽減は図られていますが、抜本的な対策には至っていません。</p> <p>このため、堤防整備等のハード面の対策を計画的に実施することはもとより、堤防などの施設的能力を上回る超過洪水に対する対応や、内水被害への対応も見据えた上で、ハザードマップの整備普及への支援や避難行動につながる受け手側の立場に立った洪水情報の提供、市町村における防災体制充実にに向けた取り組みの強化など、被害を最小化するためのソフト面からの対策がますます重要となっています。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">文章表現の修正</div> <hr/> <p><small>※流下能力：川が水を流せる能力。(減少すると氾濫の危険が高くなります) ※戦後最大規模の洪水：第二次世界大戦後、阿武隈川で最も氾濫域が広範囲に及んだ洪水。</small></p> <p style="text-align: center;">34</p>

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】



図3-1 昭和61年8月洪水と同規模の洪水発生時の外水氾濫による浸水想定図



図3-1 昭和61年8月洪水と同規模の洪水発生時の外水氾濫による浸水想定図

3. 阿武隈川の現状と課題～治水に関する事項～

3. 阿武隈川の現状と課題～治水に関する事項～

3.1.4 内水被害

3.1.4 内水被害

洪水による本川水位の上昇に伴う流入支川への逆流防止のために、樋門・樋管や水門等のゲートを閉めることによって、支川からの水が本川に排水できなくなり、支川合流部付近で生ずる氾濫を内水氾濫と呼びます。阿武隈川では、平成10年8月洪水の再度災害の防止対策として実施した『平成の大改修』などにより堤防整備率が向上したため、4年後の平成14年7月に発生した洪水では外水による氾濫被害は大幅に解消された反面、各地で内水排水不良による浸水被害が発生し、内水被害が顕在化しつつあることが明らかになりました。

洪水による本川水位の上昇に伴う流入支川への逆流防止のために、樋門・樋管や水門等のゲートを閉めることによって、支川からの水が本川に排水できなくなり、支川合流部付近で生ずる氾濫を内水氾濫と呼びます。阿武隈川では、平成10年8月洪水の再度災害の防止対策として実施した『平成の大改修』などにより堤防整備率が向上したため、4年後の平成14年7月に発生した洪水では外水による氾濫被害は大幅に解消された反面、各地で内水排水不良による浸水被害が発生し、内水被害が顕在化しつつあることが明らかになりました。

阿武隈川水系における内水対策は、これまでに救急内水排水施設や排水機場の整備、排水ポンプ車の配備・運用などを行うことにより、内水被害の軽減に努めてきましたが、近年は、沿川氾濫域内において農地だったところに大型ショッピングセンターが立地し、住宅も増加してきているなど土地利用の転換が図られてきており、反面、内水被害に対する住民の関心も高くなっています。そのため、内水浸水に対しても現状の安全度を適正に評価し、内水被害を軽減するための対策を県や市町村と連携して進めていく必要があります。

阿武隈川水系における内水対策は、これまでに救急内水排水施設や排水機場の整備、排水ポンプ車の配備・運用などを行うことにより、内水被害の軽減に努めてきましたが、近年は、沿川氾濫域内において農地だったところに大型ショッピングセンターが立地し、住宅も増加してきているなど土地利用の転換が図られてきており、反面、内水被害に対する住民の関心も高くなっています。そのため、内水浸水に対しても現状の安全度を適正に評価し、内水被害を軽減するための対策を県や市町村と連携して進めていく必要があります。

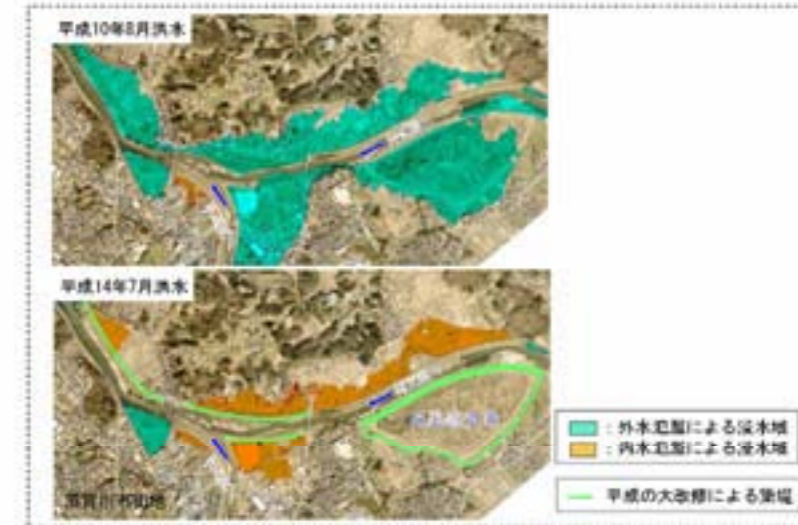
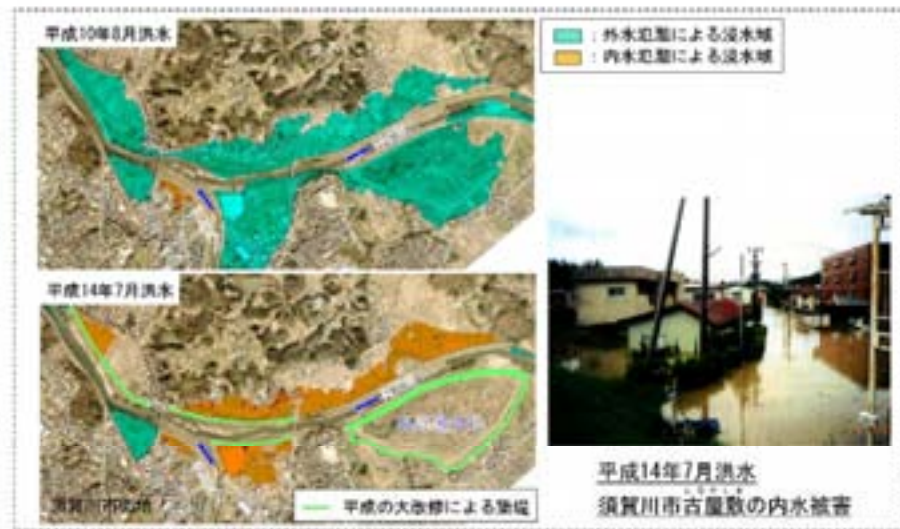


図3-8 内水被害の顕在化の例【須賀川市】

図3-8 内水被害の顕在化の例【須賀川市】



阿武隈川治水構造物(郡山市)

排水ポンプ車稼働状況(郡山市)



平成14年7月洪水 内水氾濫被害の状況

※樋門・樋管：取水または排水等のため、堤防を横断して設けられ、洪水時はゲートを全閉し、河川の逆流を防止する施設。
 ※排水機場：洪水時に堤内地の支川または排水路等の排水をポンプにより、本川へ強制的に排水し、堤内地の内水被害を軽減する施設。

※樋門・樋管：取水または排水等のため、堤防を横断して設けられ、洪水時はゲートを全閉し、河川の逆流を防止する施設。
 ※排水機場：洪水時に堤内地の支川または排水路等の排水をポンプにより、本川へ強制的に排水し、堤内地の内水被害を軽減する施設。

被害状況写真の追加

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

3. 阿武隈川の現状と課題～治水に関する事項～

3. 阿武隈川の現状と課題～治水に関する事項～

3.1.5 河川の維持管理

3.1.5 河川の維持管理

委員の指摘による修正
意見内容：写真の説明は「堤防の裸地」ではなく「堤防の裸地化」ではないか

(1). 河川管理施設の管理

(1). 河川管理施設の管理

i). 堤防・護岸の管理

i). 堤防・護岸の管理

堤防及び護岸については、度重なる出水及び時間の経過等により、老朽化、劣化、損傷等が発生するため、災害の未然防止のためにも、平常時からの点検を的確かつ効率的に実施し、必要に応じた対策を実施する必要があります。

堤防及び護岸については、度重なる出水及び時間の経過等により、老朽化、劣化、損傷等が発生するため、災害の未然防止のためにも、平常時からの点検を的確かつ効率的に実施し、必要に応じた対策を実施する必要があります。

堤防植生においては、イタドリなど有害な植生が繁茂することにより、堤防法面の有機化や裸地化が確認されており、これら有害植生の駆除と適切な植生への転換を図ることが必要です。

堤防植生においては、イタドリなど有害な植生が繁茂することにより、堤防法面の有機化や裸地化が確認されており、これら有害植生の駆除と適切な植生への転換を図ることが必要です。

また、護岸、根固工等についても、その機能が発揮されなかった場合、低水路の河岸が侵食され、堤防の安全性低下につながるおそれがあります。そのため、施設が所要の機能を発揮できるように適切に管理していく必要があります。

また、護岸、根固工等についても、その機能が発揮されなかった場合、低水路の河岸が侵食され、堤防の安全性低下につながるおそれがあります。そのため、施設が所要の機能を発揮できるように適切に管理していく必要があります。



有害な植生の侵入による堤防の裸地

有害な植生の侵入による堤防の裸地化



支川荒川 信夫橋護岸の崩壊の状況



河岸崩壊の状況 昭和 61 年 8 月洪水 宮城県区間 20.0k 付近



支川荒川 信夫橋護岸の崩壊の状況



河岸崩壊の状況 昭和 61 年 8 月洪水 宮城県区間 20.0k 付近

ii). その他施設の管理

ii). その他施設の管理

河川に設置される構造物は、主としてその設置主体と設置目的により、河川管理施設と許可工作物に区分されます。河川管理施設は、河川による公共利益と福祉の増進、地域の安全のために欠くことのできない機能を有する施設であり、ダム・堰・水門・堤防・護岸の他に樹林帯も河川管理施設に含まれます。阿武隈川の大匠管理区間 238.265km においては、表 3-1 に示す河川管理施設の維持管理を実施しています。

河川に設置される構造物は、主としてその設置主体と設置目的により、河川管理施設と許可工作物に区分されます。河川管理施設は、河川による公共利益と福祉の増進、地域の安全のために欠くことのできない機能を有する施設であり、ダム・堰・水門・堤防・護岸の他に樹林帯も河川管理施設に含まれます。阿武隈川の大匠管理区間 238.265km においては、表 3-1 に示す河川管理施設の維持管理を実施しています。

表 3-1 河川管理施設状況 (平成 18 年 3 月 31 日時点)

		堤防	堰	水門	橋門・橋管	陸橋	橋水橋梁	排水橋梁
大臣 管理 区間	宮城県	74.5ka	1ヶ所	5ヶ所	33ヶ所	2ヶ所	0ヶ所	2ヶ所
	福島県	122.4ka	0ヶ所	4ヶ所	196ヶ所	11ヶ所	1ヶ所	6ヶ所
	合計	196.9ka	1ヶ所	9ヶ所	229ヶ所	13ヶ所	1ヶ所	8ヶ所

※河川管理施設：流水の氾濫等を防ぎ、軽減するために河川管理者が行う河川工事として設置し、管理する構造物。
 ※護岸：流水等に対し、堤防の保護や河岸侵食の進行を防止することを目的に、設置されている施設。
 ※裸地化：堤防の表面を覆う植生がなくなることで、堤防の耐浸食機能低下の原因となる。
 ※樹林帯：露地と合わせて洪水氾濫の氾濫を抑制する樹林帯、水防林とも呼ばれる。

表 3-1 河川管理施設状況 (平成 18 年 3 月 31 日時点)

		堤防	堰	水門	橋門・橋管	陸橋	橋水橋梁	排水橋梁
大臣 管理 区間	宮城県	74.5ka	1ヶ所	5ヶ所	33ヶ所	2ヶ所	0ヶ所	2ヶ所
	福島県	122.4ka	0ヶ所	4ヶ所	196ヶ所	11ヶ所	1ヶ所	6ヶ所
	合計	196.9ka	1ヶ所	9ヶ所	229ヶ所	13ヶ所	1ヶ所	8ヶ所

※河川管理施設：流水の氾濫等を防ぎ、軽減するために河川管理者が行う河川工事として設置し、管理する構造物。
 ※護岸：流水等に対し、堤防の保護や河岸侵食の進行を防止することを目的に、設置されている施設。
 ※裸地化：堤防の表面を覆う植生がなくなることで、堤防の耐浸食機能低下の原因となる。
 ※樹林帯：露地と合わせて洪水氾濫の氾濫を抑制する樹林帯、水防林とも呼ばれる。

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

3. 阿武隈川の現状と課題～利水に関する事項～

阿武隈川流域内には環境基準点が 29 地点(湖沼を除く)設定されています。BOD75%値の近 5 ヶ年平均値を見ると、大半の環境基準点では環境基準値を満たしていますが、環境基準値を超過している地点も 5 地点あります。特に郡山市街地付近では BOD75%値が 4mg/l を超えており、都市部周辺では水質の改善が必要な状況にあります。



図3-21 阿武隈川流域内の類型指定状況と環境基準点における BOD75%値 (H12～H16 年、5 年平均)

委員の指摘を踏まえ、新たに頁を追加
意見内容：阿武隈川の水質の状況について、上下流、本支川でどのような傾向にあるのか平面図で表現した方がわかりやすい。

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

4. 河川整備の目標に関する事項

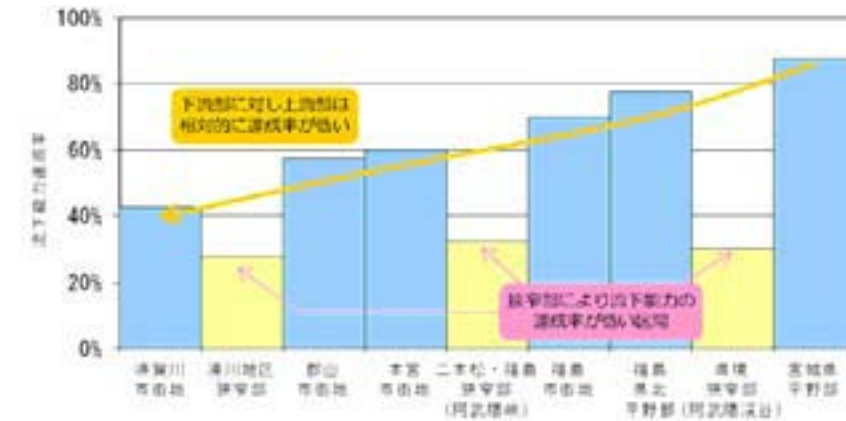
～洪水・高潮等による災害の発生防止または軽減に関する目標～

河川整備計画による整備効果②

将来目標とする計画高水流量に対する流下能力の達成率はいまだ十分なものではありませんが、阿武隈川では『平成の大改修』などを代表とした様々な治水対策が行われ着実に治水安全度は向上しています。

現在の流下能力達成率を河口から上流まで全体を比較した場合、須賀川、郡山市などの市街地を抱えている上流部が下流部と比較して相対的に達成率が低くなっているなど、上流と下流で流下能力達成率にアンバランスが生じています。また、狭野部などの住家がまばらな地域では流下能力達成率が極端に低いことも大きな課題です。

河川整備計画では、流下能力が極端に低い地域で早期に整備効果を実現する治水対策を実施し、さらに上下流のバランスを配慮した整備を実施することで、戦後最大洪水である昭和61年8月洪水と同規模の洪水に対して浸水被害を防止・軽減するとともに、将来目標とする計画高水流量に対する達成度のアンバランスを軽減します。



河川整備計画の実施

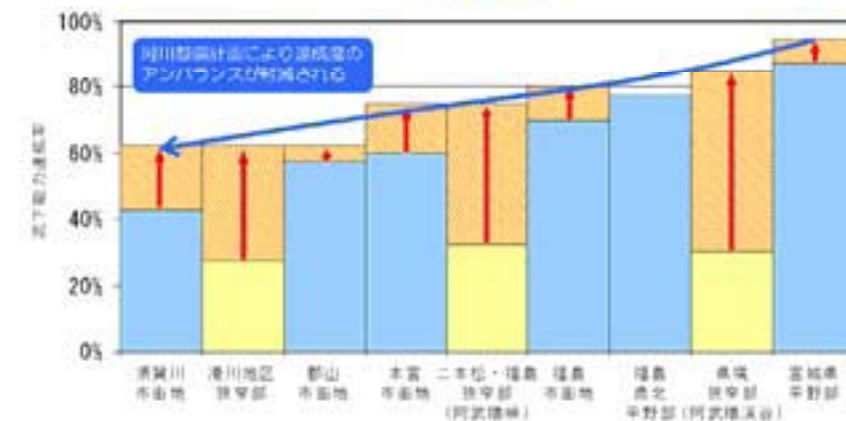


図4-3 整備計画実施による上下流の流下能力達成率のバランスの変化

委員の指摘を踏まえ、新たに頁を追加
意見内容：治水の目標については、全体的に漠然とした表現となっているため、整備による効果をわかりやすく示すなど工夫した方がよい

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

4. 河川整備の目標に関する事項

～河川の適正な利用および流水の正常な機能の維持に関する目標～

4.2 河川の適正な利用および流水の正常な機能の維持に関する目標

4.2.1 目標設定の背景

阿武隈川は、過去度々洪水被害を経験しておりその被害軽減を図るため、河川管理者・利水者等で洪水情報連絡会等を通じて、洪水に対する対策や情報交換等が行われています。

人々の生活はもとより多様な動植物の生息・生育環境の保全、水質保全を図るためには、このような洪水に対して必要な流量を確保するとともに、限りある水資源を有効に活用する必要があります。

4.2.2 整備の目標

(1) 河川の適正な利用

河川水の利用に関しては、限りある水資源の有効利用を図るため、水利用の合理化を進め、より適正な水利用が図られるように努めます。

(2) 流水の正常な機能の維持

阿武隈川水系河川整備基本方針に基づき、アユをはじめとする動植物の生息、生育や良好な水質の確保、塩害の防止など、流水の正常な機能を維持するために必要な流量として、縮矢間地点において概ね40m³/sを確保します。

表4-3 流水の正常な機能を維持するために確保する流量

河川名	地点名	地点	確保する流量	維持するダム
阿武隈川	縮矢間	宮城県伊具郡大森町縮矢間山頂	概ね40m ³ /s	三巻ダム・摺上川ダム
阿久保	阿久保	福島県郡山市大字阿久保郷	13.6m ³ /s	三巻ダム
大滝川	洲宮	福島県郡山市中田町大字高倉字蔵船敷	0.91m ³ /s	三巻ダム
摺上川	摺ノ上	福島県伊達郡伊達町字川原町	2.8m ³ /s	摺上川ダム
白石川	大河原	宮城県栗原郡大河原町地内	6.0m ³ /s	七ヶ巻ダム

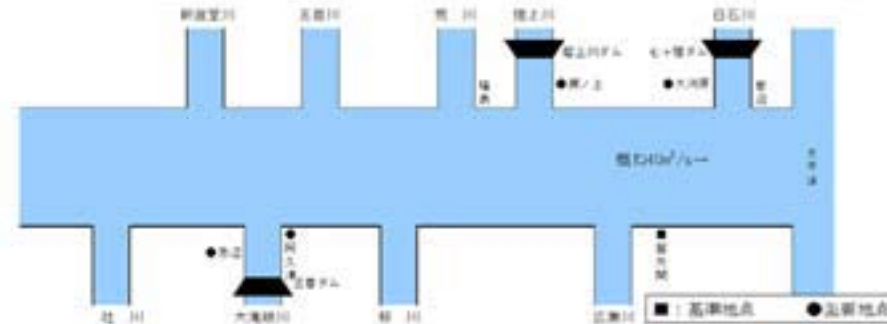


図4-3 流水の正常な機能を維持するために確保する流量

(3) 水質の保全・改善

阿武隈川の水質については、BODは近年改善傾向にあるものの、窒素やリンなどの富栄養化物質については改善傾向が見られないことから、市町村などの関係機関との連携を十分に図り、流域住民の理解と協力を求めつつ、水質の保全・改善に努めます。

4. 河川整備の目標に関する事項

～河川の適正な利用および流水の正常な機能の維持に関する目標～

4.2 河川の適正な利用および流水の正常な機能の維持に関する目標

4.2.1 目標設定の背景

阿武隈川は、過去度々洪水被害を経験しておりその被害軽減を図るため、河川管理者・利水者等で洪水情報連絡会等を通じて、洪水に対する対策や情報交換等が行われています。

人々の生活はもとより多様な動植物の生息・生育環境の保全、水質保全を図るためには、このような洪水に対して必要な流量を確保するとともに、限りある水資源を有効に活用する必要があります。

4.2.2 整備の目標

(1) 河川の適正な利用

河川水の利用に関しては、限りある水資源の有効利用を図るため、水利用の合理化を進め、より適正な水利用が図られるように努めます。

(2) 流水の正常な機能の維持

阿武隈川水系河川整備基本方針に基づき、アユをはじめとする動植物の生息、生育や良好な水質の確保、塩害の防止など、流水の正常な機能を維持するために必要な流量として、縮矢間地点において概ね40m³/sを確保します。

市町村合併後の住所に修正

表4-3 流水の正常な機能を維持するために確保する流量

河川名	地点名	地点	確保する流量	維持するダム
阿武隈川	縮矢間	宮城県伊具郡大森町縮矢間山頂	概ね40m ³ /s	三巻ダム・摺上川ダム
阿久保	阿久保	福島県郡山市大字阿久保郷	13.6m ³ /s	三巻ダム
大滝川	洲宮	福島県郡山市中田町大字高倉字蔵船敷	0.91m ³ /s	三巻ダム
摺上川	摺ノ上	福島県伊達郡伊達町	2.8m ³ /s	摺上川ダム
白石川	大河原	宮城県栗原郡大河原町地内	6.0m ³ /s	七ヶ巻ダム

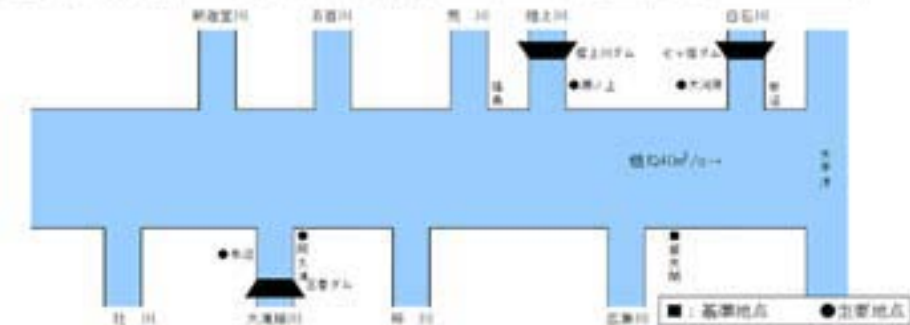


図4-4 流水の正常な機能を維持するために確保する流量

(3) 水質の保全・改善

阿武隈川の水質については、BODは近年改善傾向にあるものの、窒素やリンなどの富栄養化物質については改善傾向が見られないことから、市町村などの関係機関との連携を十分に図り、流域住民の理解と協力を求めつつ、水質の保全・改善に努めます。

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

5. 河川整備の実施に関する事項～河川工事の目的、種類及び施工の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能概要～

5. 河川整備の実施に関する事項～河川工事の目的、種類及び施工の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能概要～

(3). 河道掘削

堤防整備や洪水調節施設整備が完了しても河道断面積が不足している箇所においては、河道の目標流量が安全に流下できず浸水被害が生じることから、河道断面積を拡大するために河道掘削を実施します。

河道掘削の計画にあたっては、アユやサケの産卵場や利活用が行われている高水敷を保全し、平水時の河川環境を大きく改変しないよう掘削形状等に十分配慮します。また、掘削箇所が樹林化せず水生植物帯・湿生植物帯が創出されるよう、冠水頻度などを考慮した掘削形状とし、河岸の自然環境に配慮します。

また、河道掘削の施工にあたっては河川環境に与える影響が極力少なくなるよう、施工時期、施工方法等に配慮します。掘削工事施工時には、濁水の発生を極力抑えながら、水質等のモニタリング調査を実施するとともに、掘削により発生する残土は堤防盛土に利用するなど有効利用の検討を実施します。

(3). 河道掘削

堤防整備や洪水調節施設整備が完了しても河道断面積が不足している箇所においては、河道の目標流量が安全に流下できず浸水被害が生じることから、河道断面積を拡大するために河道掘削を実施します。

河道掘削の計画にあたっては、アユやサケの産卵場や利活用が行われている高水敷を保全し、平水時の河川環境を大きく改変しないよう掘削形状等に十分配慮します。また、掘削箇所が樹林化せず水生植物帯・湿生植物帯が創出されるよう、冠水頻度などを考慮した掘削形状とし、河岸の自然環境に配慮します。

また、河道掘削の施工にあたっては河川環境に与える影響が極力少なくなるよう、施工時期、施工方法等に配慮します。掘削工事施工時には、濁水の発生を極力抑えながら、水質等のモニタリング調査を実施するとともに、掘削により発生する残土は堤防盛土に利用するなど有効利用の検討を実施します。

表5-5 河道掘削箇所

位置		対象地区
宮城県	河口より 32.1～33.7km	金山
福島県	河口より 75.8～78.0km	福島
	116.6～117.4km	本宮
	134.0～136.0km	郡山
	142.4～147.0km	須賀川

※河道掘削箇所は、今後、詳細設計を経て決定するもので、最終的なものではありません。

表5-5 河道掘削箇所

位置		対象地区
宮城県	河口より 32.1～33.7km	金山
福島県	河口より 75.8～78.0km	福島
	116.6～117.4km	本宮
	134.0～136.0km	郡山
	142.4～147.0km	須賀川

※河道掘削箇所は、今後、詳細設計を経て決定するもので、最終的なものではありません。

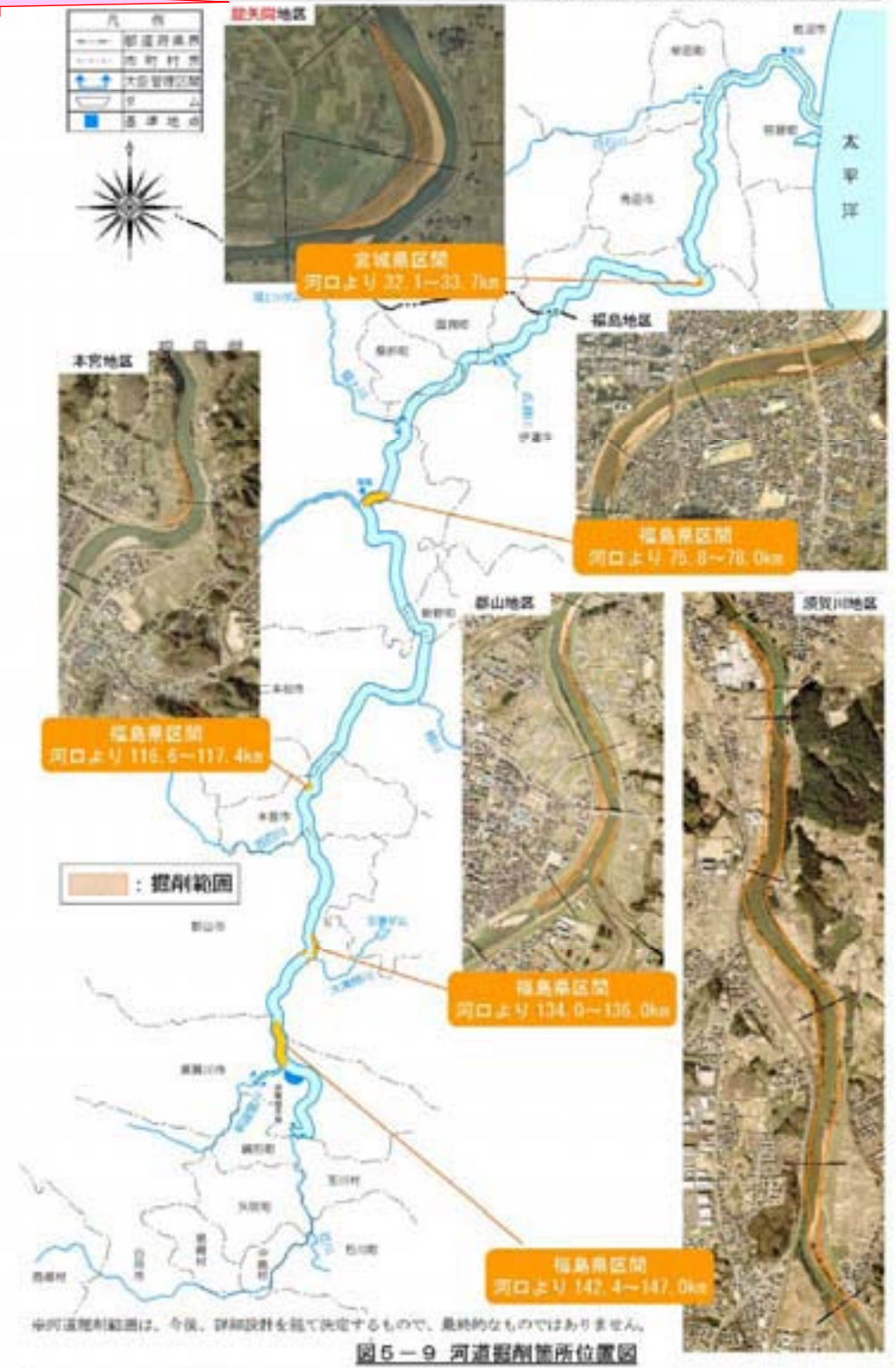
地区名を修正

5. 河川整備の実施に関する事項～河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能概要～



地区名を修正

5. 河川整備の実施に関する事項～河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能概要～



阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

5. 河川整備の実施に関する事項～河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能概要～

5. 河川整備の実施に関する事項～河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能概要～

5.1.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

5.1.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

(1). 既設ダムによる補給

(1). 既設ダムによる補給

阿武隈川の流水の正常な機能を維持するための流量(正常流量)は、館矢間地点において概ね40m³/sとしています。

阿武隈川の流水の正常な機能を維持するための流量(正常流量)は、館矢間地点において概ね40m³/sとしています。

10年に1回程度起こりうる洪水時においても、正常流量を確保し、河川環境の保全や安定的な水利用を図るため、既設の三春ダム(平成10年度竣工)および摺上川ダム(平成17年度竣工)により、必要な水量を補給します。

10年に1回程度起こりうる洪水時においても、正常流量を確保し、河川環境の保全や安定的な水利用を図るため、既設の三春ダム(平成10年度竣工)および摺上川ダム(平成17年度竣工)により、必要な水量を補給します。

表5-7 流水の正常な機能の維持に必要な流量

河川名	地点名	地点	確保する流量	補給するダム
阿武隈川	館矢間	宮城県伊具郡丸森町館矢間山田	概ね40m ³ /s	三春ダム 摺上川ダム
	阿久津	福島県郡山市大字阿久津橋	13.0m ³ /s	三春ダム
大滝懸川	寺河	福島県郡山市中田町大字高倉字蔵敷敷	0.91m ³ /s	三春ダム
摺上川	摺ノ上	福島県伊達郡伊達町字川原町	1.0m ³ /s	摺上川ダム
白岩川	大河原	宮城県東田郡大河原町地内	0.0m ³ /s	七ヶ宿ダム

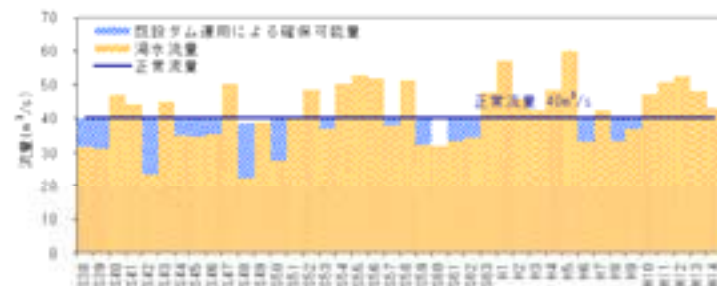


図5-15 館矢間地点における洪水流量と既設ダムによる確保量

表5-7 流水の正常な機能の維持に必要な流量

河川名	地点名	地点	確保する流量	補給するダム
阿武隈川	館矢間	宮城県伊具郡丸森町館矢間山田	概ね40m ³ /s	三春ダム 摺上川ダム
	阿久津	福島県郡山市大字阿久津橋	13.0m ³ /s	三春ダム
大滝懸川	寺河	福島県郡山市中田町大字高倉字蔵敷敷	0.91m ³ /s	三春ダム
摺上川	摺ノ上	福島県伊達郡伊達町	1.0m ³ /s	摺上川ダム
白岩川	大河原	宮城県東田郡大河原町地内	0.0m ³ /s	七ヶ宿ダム

市町村合併後の住所に修正

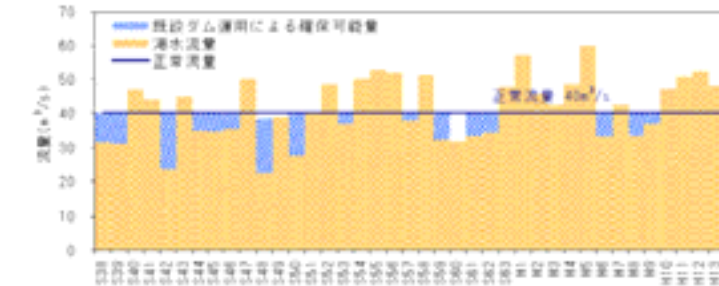


図5-15 館矢間地点における洪水流量と既設ダムによる確保量

(2). 水質の保全・改善

(2). 水質の保全・改善

定期採水による分析及び水質自動観測装置により、流域の水質状況を把握するとともに、現在の水質を悪化させることのないよう、既存の水質浄化施設やダム貯水池水質保全施設を適切に運用します。

定期採水による分析及び水質自動観測装置により、流域の水質状況を把握するとともに、現在の水質を悪化させることのないよう、既存の水質浄化施設やダム貯水池水質保全施設を適切に運用します。

また、流域全体の社会生活などに起因する富栄養化の原因物質については、流域内での汚濁負荷削減の取り組みを支援し、関係地方公共団体、下水道等の関係機関との連携を図りその減少に努めます。

また、流域全体の社会生活などに起因する富栄養化の原因物質については、流域内での汚濁負荷削減の取り組みを支援し、関係地方公共団体、下水道等の関係機関との連携を図りその減少に努めます。

さらに、子供達を対象とした水生生物の観察会や出前講座などを通じての啓発活動を継続し、流域住民とともに阿武隈川の水質改善に取り組みます。

さらに、子供達を対象とした水生生物の観察会や出前講座などを通じての啓発活動を継続し、流域住民とともに阿武隈川の水質改善に取り組みます。

表5-8 阿武隈川の水質基準値(大臣管理区間)

区間	類型	環境基準値	環境基準点
河口より0.0k~33.0k	1	BOD7日(上) 2.0mg/l 大腸菌群数(上) 1000MPN/100ml SS(上) 25mg/l	阿武隈大橋(河口より約 0k地点)
	2	BOD7日(上) 3.0mg/l 大腸菌群数(上) 5000MPN/100ml	丸森橋(河口より約 27k地点)
河口より33.0k~121.4k	3	BOD7日(上) 3.0mg/l 大腸菌群数(上) 5000MPN/100ml	大正橋(河口より約 89k地点)
	3	SS(上) 25mg/l	阿久津橋(河口より約 124k地点)

表5-8 阿武隈川の水質基準値(大臣管理区間)

区間	類型	環境基準値	環境基準点
河口より0.0k~33.0k	1	BOD7日(上) 2.0mg/l 大腸菌群数(上) 1000MPN/100ml SS(上) 25mg/l	阿武隈大橋(河口より約 0k地点)
	2	BOD7日(上) 3.0mg/l 大腸菌群数(上) 5000MPN/100ml	丸森橋(河口より約 27k地点)
河口より33.0k~121.4k	3	BOD7日(上) 3.0mg/l 大腸菌群数(上) 5000MPN/100ml	大正橋(河口より約 89k地点)
	3	SS(上) 25mg/l	阿久津橋(河口より約 124k地点)

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

5. 河川整備の実施に関する事項～河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能概要～

5. 河川整備の実施に関する事項～河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設等の機能概要～

(2). 景観に配慮した河川整備

(2). 景観に配慮した河川整備

阿武隈川は周辺に自然公園や国立公園が存在し、阿武隈渓谷、乙字ヶ滝など自然豊かな河川景観を形成している景勝地では、古くから美しい河川風景を保持しています。河川景観の評価が高い箇所においては、河川工事による景観改変を極力小さくするよう努め、良好な景観の保全を行います。

阿武隈川は周辺に自然公園や国立公園が存在し、阿武隈渓谷、乙字ヶ滝など自然豊かな河川景観を形成している景勝地では、古くから美しい河川風景を保持しています。河川景観の評価が高い箇所においては、河川工事による景観改変を極力小さくするよう努め、良好な景観の保全を行います。

また、良好な景観は、地域の自然、歴史、文化等の地域固有の特性と密接に関連するものであることから、河川構造物の建設にあたっては、景観に配慮したデザインや色彩について専門家の意見を踏まえたうえで、使用材料についても充分周辺と適合するものの選定に努めます。

また、良好な景観は、地域の自然、歴史、文化等の地域固有の特性と密接に関連するものであることから、河川構造物の建設にあたっては、景観に配慮したデザインや色彩について専門家の意見を踏まえたうえで、使用材料についても充分周辺と適合するものの選定に努めます。



5. 河川整備の実施に関する事項～河川の維持の目的、種類及び施行の場所～

iii). 洪水後(洪水時)の状況把握

大規模な出水が発生した場合、河川管理施設に対して大きな影響を与える場合があります。施設の機能維持を左右するため、その変状を把握する必要があります。

そのため洪水後は、河川管理施設の変状を適切に把握することを目的に、施設の巡視や堤防漏水調査など、必要に応じた調査を実施します。

また、大規模出水による河道の変化は非常に大きく、その状況把握は後の河川維持管理にとって重要です。洪水が発生した場合には、空中写真撮影や河床材料調査など、多岐にわたる項目について調査します。

- 洪水後(洪水時)に実施する代表的な調査項目
- ・空中写真撮影
 - ・洪水痕跡調査
 - ・河床材料調査
 - ・異常洗掘調査
 - ・植生の倒伏状況調査



平成14年7月洪水による河口砂州の変化

iv). 水文観測調査

洪水状況や洪水の規模を適切に把握するため、これまでに平常時・洪水時に問わず、継続的に水文観測調査を実施してきました。現在、水位・流量観測や水質観測などの水文観測は合計122地点で行っています。

今後も、これら水文観測所の点検を適切に実施するとともに、水文観測調査を継続していきます。

表5-11 水文観測所の数

項目	地点数
雨量観測所	58
水位・流量観測所	64

5. 河川整備の実施に関する事項～河川の維持の目的、種類及び施行の場所～

iii). 洪水後(洪水時)の状況把握

大規模な出水が発生した場合、河川管理施設に対して大きな影響を与える場合があります。施設の機能維持を左右するため、その変状を把握する必要があります。

そのため洪水後は、河川管理施設の変状を適切に把握することを目的に、施設の巡視や堤防漏水調査など、必要に応じた調査を実施します。

また、大規模出水による河道の変化は非常に大きく、その状況把握は後の河川維持管理にとって重要です。洪水が発生した場合には、空中写真撮影や河床材料調査など、多岐にわたる項目について調査します。

- 洪水後(洪水時)に実施する代表的な調査項目
- ・空中写真撮影
 - ・洪水痕跡調査
 - ・河床材料調査
 - ・異常洗掘調査
 - ・植生の倒伏状況調査



平成14年7月洪水による河口砂州の変化

iv). 水文観測調査

洪水状況や洪水の規模を適切に把握するため、これまでに平常時・洪水時に問わず、継続的に水文観測調査を実施してきました。現在、水位・流量観測や水質観測などの水文観測は合計133地点(平成18年12月時点)で行っています。

今後も、これら水文観測所の点検を適切に実施するとともに、水文観測調査を継続していきます。

表5-11 水文観測所の数

	雨量	水位 <small>(水質観測所を含む)</small>	水質	地下水位
宮城県内	18	19	9	2
福島県内	40	36	9	0
合計	58	55	18	2

水文観測所数をH18の最新の数値に修正

5. 河川整備の実施に関する事項～河川の維持の目的、種類及び施行の場所～

(6). 洪水ハザードマップの作成支援

洪水時の被害を軽減するために氾濫区域や避難経路、避難場所等について常日頃から地域住民に周知するなど、住民の防災に対する意識を高揚させることが必要です。

平成17年5月に改正された水防法により、市町村は洪水ハザードマップの作成・公表が義務付けられました。阿武隈川では「阿武隈川圏域災害情報協議会」を平成17年に設立し、ハザードマップの普及促進を図っています。

今後も、市町村の洪水ハザードマップの早期作成のための支援や住民への普及促進の支援を積極的に行います。



図5-35 洪水ハザードマップ 郡山市

5. 河川整備の実施に関する事項～河川の維持の目的、種類及び施行の場所～

(6). 洪水ハザードマップの作成支援

洪水時の被害を軽減するために氾濫区域や避難経路、避難場所等について常日頃から地域住民に周知するなど、住民の防災に対する意識を高揚させることが必要です。

平成17年5月に改正された水防法により、市町村は洪水ハザードマップの作成・公表が義務付けられました。阿武隈川では「阿武隈川圏域災害情報協議会」を平成17年に設立し、ハザードマップの普及促進を図っています。

今後も、市町村の洪水ハザードマップの早期作成のための支援や住民への普及促進の支援を積極的に行います。



■「平成10年8月洪水」におけるハザードマップの効果

早くから「洪水ハザードマップ」の作成、公表を行っていた郡山市では、大きな被害を受けた平成10年8月洪水時にハザードマップが活用され、大きな効果を発揮しました。その後行われたアンケート調査より、「洪水ハザードマップ」を見た住民の避難勧告直後の避難率は、見ていない住民よりも約5%程度高かった[※]ことが明らかとなっています。

また当時の行政側の対応も、ハザードマップ作成時における情報収集や被害時の対応検討等によって、迅速な行政対応が可能となり、洪水時の危機管理の一環として大きな効果をもたらしました。

しかし当時の避難活動から、避難場所の設定や災害弱者対策など改善すべき課題が挙げられたため、郡山市ではこれらに対応した改訂版を平成12年度に配布しています。



図5-35 洪水ハザードマップ 郡山市

※「平成10年8月豪雨災害における郡山市民の避難行動の実態とその特徴」(群馬大学工学部 河田敬博)より

阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)	阿武隈川河川整備計画【原案】
<p data-bbox="388 352 1216 382">5. 河川整備の実施に関する事項～その他河川整備を総合的に行うために必要な事項～</p> <p data-bbox="379 443 893 470">5.3.3 河川整備の重点的、効果的、効率的な実施</p> <p data-bbox="388 487 1216 548">本整備計画を重点的に進めるため、効果的かつ効率的な取り組みが必要となります。</p> <p data-bbox="388 554 1216 680">新技術等を活用したコスト縮減・事業の迅速化を図り効率的な事業実施をおこなうとともに、本整備計画策定後の各種施策等の実施にあたり、計画の進捗状況や社会情勢、地域の要請等に変化が生じた場合は、計画のフォローアップを行い必要に応じて見直しを行い効果的な河川整備を実施します。</p> <p data-bbox="388 686 1216 783">そのためには、治水、利水、環境、維持管理に関する河川整備の目標を念頭に置き、阿武隈川の現状や地域の要望等の把握に努め、評価改善を行い、安全安心が持続でき、地域のシンボルとなる川づくりを常に目指します。</p> <hr data-bbox="311 1812 1216 1816"/> <p data-bbox="739 1875 789 1898">123</p>	<p data-bbox="1715 352 2543 382">5. 河川整備の実施に関する事項～その他河川整備を総合的に行うために必要な事項～</p> <p data-bbox="1706 443 2220 470">5.3.3 河川整備の重点的、効果的、効率的な実施</p> <p data-bbox="1715 487 2543 548">本整備計画を重点的に進めるため、効果的かつ効率的な取り組みが必要となります。</p> <p data-bbox="1715 554 2543 680">新技術等を活用したコスト縮減・事業の迅速化を図り効率的な事業実施をおこなうとともに、本整備計画策定後の各種施策等の実施にあたり、計画の進捗状況や社会情勢、地域の要請等に変化が生じた場合は、計画のフォローアップを行い必要に応じて見直しを行い効果的な河川整備を実施します。</p> <p data-bbox="1670 814 1792 842">6. 結 語</p> <p data-bbox="1715 882 2543 1008">本整備計画では、3つの基本理念「安全で安心が持続できる阿武隈川の実現」「豊かで多様な自然環境の次世代への継承」「阿武隈川を軸とした人・自然・社会の調和と活力ある地域の創造」の実現に向けて、阿武隈川の治水、利水、環境、維持・管理それぞれに目標を定め、段階的な整備に着実に取り組んでいくこととしています。</p> <p data-bbox="1715 1050 2543 1176">本計画を実行し、阿武隈川をより良い姿で次世代に継承していくためには、河川管理者の不断の努力はもとより、流域に住む一人一人の理解と協力が必要不可欠です。そのためには、流域に住む多くの人々が阿武隈川に親しみ、関心を持ってもらうことが大切と考えています。</p> <p data-bbox="1715 1182 2543 1308">河川整備計画の実施にあたっては、計画の実施段階から維持管理に至る様々な場面で河川管理者の取り組みを地域に情報発信し、また、地域の方々の阿武隈川への思いやニーズを適切に把握し、施策に反映していくことで、河川管理者と流域市民の信頼関係を育み、連携と協働の枠組みを広げていく必要があります。</p> <p data-bbox="1715 1314 2543 1411">このような取り組みを継続することにより、阿武隈川が1つの流域共同体であるとの意識が醸成され、阿武隈川が抱える様々な課題は、流域に住む一人一人共通の課題であると認識されるものと考えます。</p> <p data-bbox="1715 1453 2543 1579">阿武隈川は、流域の人々との関わりの中で、時には自然の力で、時には人の手によって、常にその姿を変えながら、歴史と文化を育んできました。この、たえず変化している阿武隈川を確かな目で見つめ、川と上手につきあってきた先人たちの知恵に学びながら、地域とともにより良い川づくりに努めていきます。</p> <div data-bbox="1843 1608 2626 1753" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>委員の指摘を踏まえ、「結 語」を追加 意見内容：最後が尻きれトンボみたいになっている印象があったので、あとがきとして決意表明のようなところを最後に書いていただくのがよいという印象を受けた。</p> </div> <hr data-bbox="1644 1812 2543 1816"/> <p data-bbox="2059 1875 2110 1898">124</p>

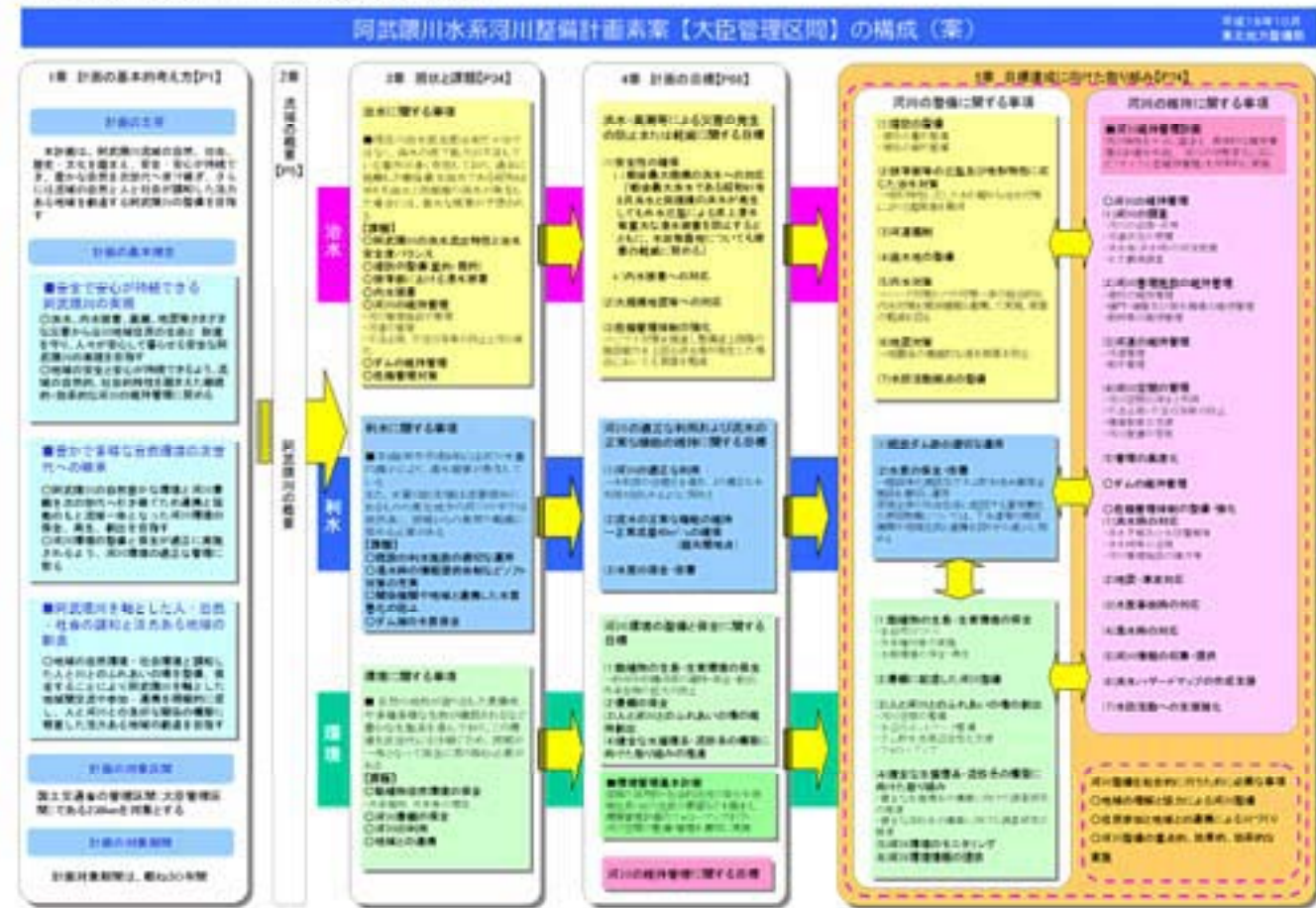
阿武隈川水系河川整備計画「大臣管理区間」素案(公表版)と原案 対比表

阿武隈川河川整備計画【素案】(公表版)

阿武隈川河川整備計画【原案】

素案⇒原案に修正

<参考> 阿武隈川水系河川整備計画素案【大臣管理区間】の構成



<参考> 阿武隈川水系河川整備計画原案【大臣管理区間】の構成

